

委員長 櫻井兵五郎君
理事 海野 數馬君 庄 晋太郎君
關稅定率法中改正法律案(政府提出)委員
委員長 永田善三郎君
理事 松尾 四郎君 鈴木吉之助君
北海道土功組合法中改正法律案(政府提出)委員
委員長 一柳仲次郎君
理事 手代木隆吉君 三井 德寶君
汚物掃除法中改正法律案(政府提出)委員
委員長 中馬 興丸君
理事 大里廣次郎君 本田 義成君
一去一日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ
朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出)
則元 由庸君 服部 英明君
山本平三郎君 大島 要三君
藍川 清成君 堀内 良平君
宮澤 裕君 中山 貞雄君
熊谷 巖君
昭和三年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)外六件
橫山金太郎君 松本 忠雄君
石塚 讓君 佐藤喜八郎君
中島 琢之君 戶部 良祐君
高橋 欽哉君 當眞 嗣合君
小村 俊一君 水上齋之助君
松實喜代太君 一瀬 一二君
鈴木梅四郎君 高草美代藏君
向井 倭雄君 三尾 邦三君
平井信四郎君 中田 駿郎君
一去一日理事補選ノ結果左ノ如シ
豫算委員 猪野毛利榮君(理事植原悦二郎君五月一日委員辭任ニ付其ノ補闕)
理事 英明君 中山 貞雄君

決算委員 小俣 政一君(理事寺島權藏君四月三十日委員辭任ニ付其ノ補闕)
一去一日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ
第二部選出 鳩山 一郎君
第三部選出 池田 敬八君
第四部選出 海老澤爲次郎君
第五部選出 前田 米藏君
第六部選出 八並 武治君
第七部選出 神部 爲藏君
豫算委員 植原悦二郎君
第九部選出 遠藤 千元君
豫算委員 第二部選出 遠藤 千元君
一去一日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ
關稅定率法中改正法律案委員
辭任牧野 良三君 補闕龍 正雄君
北海道土功組合法中改正法律案委員
辭任工藤十三雄君 補闕東條 貞君
輸出補償法案委員
辭任鈴木 英雄君 補闕山崎 猛君
辭任一柳仲次郎君 補闕渡邊 泰邦君
賠償金特別會計法中改正法律案外一件委員
辭任櫻井兵五郎君補闕北原阿智之助君
一昨二日委員長及理事互選ノ結果左ノ如シ
朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出)委員
委員長 大島 要三君
理事 服部 英明君 中山 貞雄君

昭和三年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)外六件委員
委員長 橫山金太郎君
理事 松本 忠雄君 高橋 欽哉君
三尾 邦三君 平井信四郎君
一昨二日常任委員補選ノ結果左ノ如シ
第二部選出 守屋 榮夫君(鳩山一郎君補闕)
第三部選出 栗原彦三郎君(池田敬八君補闕)
第四部選出 小峰 滿男君(海老澤爲次郎君補闕)
第五部選出 名川 侃市君(前田米藏君補闕)
第六部選出 遠藤 千元君(八並武治君補闕)
第七部選出 澤田 利吉君(神部爲藏君補闕)
第九部選出 牧野 良三君(植原悦二郎君補闕)
豫算委員 第二部選出 古島宮次郎君(遠藤千元君補闕)
一昨二日議長ニ於テ辭任ヲ許可シタル常任委員左ノ如シ
第八部選出 西尾 末廣君
豫算委員 第八部選出 櫻内 辰郎君
一昨二日ニ於ケル特別委員ノ異動左ノ如シ
昭和三年度第一豫備金支出ノ件(承諾ヲ求ムル件)外六件委員
委員長 櫻内 辰郎君
理事 服部 英明君 中山 貞雄君

辭任松實喜代太君 補闕志賀和多利君
輸出補償法案委員
辭任板谷 順助君 補闕上田 孝吉君
辭任渡邊 泰邦君 補闕最上 政三君
關稅定率法中改正法律案委員
辭任龍 正雄君 補闕深澤豐太郎君
●議長(藤澤幾之輔君) 是ヨリ會議ヲ開キマス——御諮リ致シマス、第一部選出決算委員岩本武助君、右常任委員辭任ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
●議長(藤澤幾之輔君) 御異議ガナケレバ許可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉ヲ行ヒ御届ケアラシコトヲ望ミマス——大植清左衛門君病氣ニ付キ五月三日ヨリ五月十三日マデ請假ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
●議長(藤澤幾之輔君) 御異議ガナケレバ許可致シマス——賠償金特別會計法中改正法律案外一件、關稅定率法中改正法律案、輸出補償法案ノ各委員長ヨリ、本日本會議中委員會ヲ開キタイトノ申出ガアリマス、之ヲ許可スルニ御異議アリマセスカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
●議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メテ之ヲ許可致シマス——日程第一、盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案ノ第二讀會ヲ開キマス、渡邊司法大臣
第一 盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案(政府提出、貴族院送付) 第一讀會
第一條 左ノ各號ノ場合ニ於テ自己又ハ他人ノ生命、身體又ハ貞操ニ對シタル現在ノ危險ヲ排除スル爲メ犯人ヲ殺傷シタルトキハ刑法第三十六條第一項ノ防衛行爲アリタルモノトス
一 盜犯ヲ防止シ又ハ盜賊ヲ取還セントスルトキ

二 兇器ヲ携帯シテ又ハ門戸牆壁等ヲ踰越損壊シ若ハ鎖鑰ヲ開キテ人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若ハ船舶ニ侵入スル者ヲ防止セントスルトキ

三 故ナク人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若ハ船舶ニ侵入シタル者又ハ要求ヲ受ケテ此等ノ場所ヨリ退去セザル者ヲ排斥セントスルトキ

前項各號ノ場合ニ於テ自己又ハ他人ノ生命、身體又ハ貞操ニ對スル現在ノ危險アルニ非ズト雖モ行為者恐怖、驚愕、興奮又ハ狼狽ニ因リ現場ニ於テ犯人ヲ殺傷スルニ至リタルトキハ之ヲ罰セズ

第二條 常習トシテ左ノ各號ノ方法ニ依リ刑法第二百三十五條、第二百三十六條、第二百三十八條若ハ第二百三十九條ノ罪又ハ其ノ未遂罪ヲ犯シタル者ニ對シ竊盜ヲ以テ論ズベキトキハ三年以上、強盜ヲ以テ論ズベキトキハ七年以上ノ有期懲役ニ處ス

一 兇器ヲ携帯シテ犯シタルトキ

二 二人以上現場ニ於テ共同シテ犯シタルトキ

三 門戸牆壁等ヲ踰越損壊シ又ハ鎖鑰ヲ開キ人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若ハ船舶ニ侵入シテ犯シタルトキ

四 夜間人ノ住居又ハ人ノ看守スル邸宅、建造物若ハ船舶ニ侵入シテ犯シタルトキ

第四條 常習トシテ刑法第二百四十條前段ノ罪若ハ第二百四十一條前段ノ罪又ハ其ノ未遂罪ヲ犯シタル者ハ無期又ハ十年以上ノ懲役ニ處ス

（國務大臣ノ爵位邊千冬君登壇）
●國務大臣（子爵邊千冬君） 盜犯等ノ防止及處分ニ關スル法律案提出ノ理由ヲ御說明シタイト存ジマス

近時強竊盜又ハ家宅侵入者等ニシテ、生命、身體、貞操等ニ對シ危害ヲ加ヘントスル者ガ續出致シマシテ、被害者ニ於テ臨機ノ處置ニ依リ自ラ防衛ヲ致サナケレバ、重大ナル被害ヲ免ル、コト能ハザル事例ガ少シトセスノデアリマス、然ルニ刑法正當防衛ノ規定ハ、其措辭ガ抽象的デアリマス爲ニ、其適用ノ範圍ニ付テ解釋上ノ疑義ガアリマシテ、被害者ニ於テ機宜ノ處置ニ依リ、自衛ヲ全ウスルニ躊躇セザルヲ得ザル場合ノアル憾ガアルデアリマス、此ヲ以テ法律上具體的ノ條件ヲ明示シテ、是等ノ場合ニ於ケル防衛權ノ發動ヲ安固ニスル必要ガアルノデアリマス、又良民ガ盜賊又ハ侵入者等ニ遭遇致シマス場合ニ、恐怖、驚愕、興奮、狼狽等ノ結果、急迫重大ナル危險ノ存否ニ對スル判斷力ヲ失ヒマシテ、殆ド無意識ノ舉措ヲ敢テスルニ至ルコトノアリマス、ハ、往々見所デアリマス、斯ル場合ニ於キマシテ、現行法ノ上ニ於テハ責任能力ノ上カラ見テ、其罪ヲ罰セザルコトヲ得マスケレドモ、之ニ臨ムニ刑責ヲ以テスルノ必要ガナイト云フコトヲ、明ニシテ置クコトガ、適當デアルト考ヘタノデアリマス、是レ即チ上記ノ諸點ニ關スル新ナル立法ヲ必要ト認メタ所以デアリマス

次ニ從來ノ經驗ニ依リマスレバ、強盜、竊盜犯人、殊ニ其常習犯人ハ、出獄後幾何モナク其犯罪ヲ累行スルノヲ通例ト致スノデアリマシテ、社會ハ之ガ爲ニ重大ナル脅威ヲ受ケテ居ルデアリマス、此脅威ニ對シ社會ヲ保護スルニハ、比較的長期ノ刑ヲ課シテ、社會ヨリ犯人ヲ隔離スルト共ニ、

其改善ヲ圖ルコトヲ必要トスルノデアリマス、然ルニ現行刑法適用上ノ慣例ニ於キマシテハ、是等ノ者ニ對スル課刑ガ輕キニ失シ、短期間ニシテ常習性ノ保持者タルコト明カナル者ヲ釋放スルノ已ムヲ得ザルニ至リマシテ、社會防衛ヲ全ウスルコトハ出來ナイヤウナ狀況デアアルデアリマス、之ガ爲ニハ法律上其刑ヲ重クスル必要ガアルノデアリマス

以上ハ本案ヲ提出スル主ナル理由デアリマス、願クバ慎重ニ審議ノ上、御協賛ヲ與ヘラレンコトヲ切望致スデアリマス（拍手）

●議長（藤澤幾之輔君） 日程第二、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

●議長（藤澤幾之輔君） 日程第二、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

●議長（藤澤幾之輔君） 日程第二、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

●議長（藤澤幾之輔君） 日程第二、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

●議長（藤澤幾之輔君） 日程第二、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

●議長（藤澤幾之輔君） 日程第二、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

●議長（藤澤幾之輔君） 日程第二、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

●議長（藤澤幾之輔君） 日程第二、右議案ノ審查ヲ付託スベキ委員ノ選舉ヲ議題ト致シマス

（一）柳仲次郎君登壇
●一柳仲次郎君 御付託ニナリマシタ北海道土功組合法中改正法律案ノ委員會ニ於ケル經過ト結果ヲ御報告致シマス、委員會ハ二回開會致シマシテ、政府當局ノ提案ノ理由ノ說明ヲ聽キ、委員諸氏ヨリ質問應答ヲ重ネ、慎重審議ヲ致シマシタ結果、本案ハ全會一致ヲ以テ可決サレタデアリマス、但シ委員會中ヨリ、本案ハ認ムルガ希望條件ヲ附シタイト云フ御意見ガアッタデアリマス、其希望條件ハ茲ニ朗讀致シマス

一、第六條改正ノ運用ニ際シテハ收穫ノ豐凶經濟界ノ事情及組合員ノ實情等ヲ考量斟酌シ處分ノ實行ヲ爲スヤウ組合理事者ニ對シ相當ニ監督セラレンコトヲ望ム

二、組合費ノ滯納者多キハ主トシテ土功費負擔ノ過重ニ起因スルモノナルヲ以テ之カ輕減ヲ圖ルヘク適當ノ措置ヲ講セラレンコトヲ望ム

此二項ヲ附帶シテ決議サレタイト云フ御希望ガアッタデアリマス、採決ノ結果、遺憾ナガラ少數ヲ以テ是ハ否決サレタデアリマス、仍テ本案ハ原案其儘ニ總員一致ノ認ムル所トナッテ可決サレタデアリマス、此段御報告申上ゲマス、本會ニ於テモ速ニ御審議ヲ御進メアラシコトヲ望ミマス（拍手）

●議長（藤澤幾之輔君） 討論ノ通告ガアリマス——東條貞君

（東條貞君登壇）
●東條貞君 本改正案ニ對シマシテ賛成ノ意見ヲ申述ベタイト存ズルノデアリマス、但シ此改正ハ土功組合ニ對シマシテ、公法人ト致シマシテ完全ナル人格ヲ與ヘ、自ラ滯納處分ヲ致シマスル所ノ權限ヲ與フルモノデアリマシテ、之ニ依ッテ組合ノ經理ヲ致シマスル上ニ、非常ニ都合ガ宜シイデアリマス、一體土功組合ノ數ハ二百有餘アリマシテ、是ノ一箇年ノ歳入出ハ約一千万圓デアリマス、然ルニ滯納額ハ百八十八萬餘

●東條貞君 本改正案ニ對シマシテ賛成ノ意見ヲ申述ベタイト存ズルノデアリマス、但シ此改正ハ土功組合ニ對シマシテ、公法人ト致シマシテ完全ナル人格ヲ與ヘ、自ラ滯納處分ヲ致シマスル所ノ權限ヲ與フルモノデアリマシテ、之ニ依ッテ組合ノ經理ヲ致シマスル上ニ、非常ニ都合ガ宜シイデアリマス、一體土功組合ノ數ハ二百有餘アリマシテ、是ノ一箇年ノ歳入出ハ約一千万圓デアリマス、然ルニ滯納額ハ百八十八萬餘

圓ト承知ヲ致シテ居リマス、斯ノ如キ多額ノ滯納ヲ生ジマスル原因ハ、決シテ組合員ノ怠慢其他不都合ナル意思ニ原因ヲ致シテ居ルモノデハナイノデアリマシテ、多數組合ノ中ニハ、非常ナ窮境ニ墮テ居ル者モ少カラズアルノデアリマス、其原因ヲ考ヘマシ、國ガ頻リニ水田ノ造成ヲ獎勵致シマシタ場合、工事ノ設計及農事ニ於ケル技術上ノ調査ガ甚ダ杜撰デアリマシテ、許可スペカラザルモノニ許可ヲ與ヘ、認可スペカラザルモノニ認可ヲ與ヘマシタ事實ガアルノデアリマシテ、此事實ハ既ニ當局ニ於テモ認めラレマシテ、十八ノ組合ニ對シマシテハ、既ニ相當ノ整理ヲ致サレタノデアリマス、此多額ノ滯納ノ原因ガ、單ニ組合員ノ怠慢ニ因ルニ非ザルモノニ對シマシテハ、單ナル組合經理ノ都合上、滯納處分ヲ厲行致サレマスルナラバ、組合ニ依リマシテハ、組合員ノ非常ナル不利益迷惑ヲ醸スノデアリマス、北海道ニ移住致シマシテ、苦心慘憺土地ヲ拓キ、漸ク水田ノ造成ガ出來ルヤウニ相成リマシテ、此處デ子孫將來ノ生活ノ基礎ヲ漸クニ得マシタ所ノ多數ノ小ナル農民ガ、此組合經理ノ都合上ト云フ僅ナル理由ノ下ニ、其土地ヲ資本家ノ爲ニ、滯納處分ニ依テ奪取サレシマヒマス處ガ少カラズアルノデアリマス、隨テ此法ノ運用ニ際シマシテハ、是等ノ事情ヲ能ク斟酌ヲ致シマシテ、眞ニ怠慢ニ因ルモノデアルカ、又實際ニ組合ノ負擔ガ非常ニ重ク、到底耐ヘラレナイ爲ニ滯納ヲ生ジテ居ルモノデアルカト云フコトヲ、能ク考慮ヲ致シマシタ上ニ於テ處分ヲ實行致サンケレバ、遂ニ角ヲ矯メントシテ牛ヲ殺スト云フ結果ニ陥ルノデアリマス

更ニ斯様ナ多數ノ滯納ヲ生ジマス原因ヲ除クコトガ必要デアリマスガ、其原因ハ、前來申述ベマシタ通り、企業ノ最初ニ於キマシテ計畫ガ杜撰デアリ、又之ヲ審査致シ、調査致シマシテ、サウシテ許可ヲ與ヘマスル國ニ於テモ、其不成績ノ一半ノ責任ヲ持タンケレバ相成ラスノデアリマス、且ツ内地ノ府縣ニ實施サレテ居リマス開墾助成法ニ於キマシテハ、一段歩平均七十圓ノ補助ヲ與ヘテ居ルノデアリマスケレドモ、北海道ノ土功組合ニ於キマシテハ、昭和元年度以前ノ分ニ對シテハ僅ニ十圓六十九錢、昭和二年以後ノ分ニ對シマシテハ、現在ニ至ルマデ一段歩平均三十三圓八十錢、内地ニ於ケル府縣ノ開墾助成法ニ依リマス補助ノ半バニモ達シナイ補助シカ受ケテ居ナイ、即チ國ノ保護ガ薄イコト、計畫ノ杜撰、而シテ此計畫ノ杜撰ハ單ニ組合ノミノ責任ニ非ズシテ、設計其他ヲ調査シ、之ニ認可許可ヲ與ヘマシタ政府當局ニモ、其一半ノ責任ガアルノデアリマスカラ、是等ノ點ヲ能ク考慮ヲ致シマシテ、斯様ナ滯納ノ生ジマス原因ヲ除クベク、適當ナル措置ヲ講ズルコトガ必要ナノデアリマス、即チ委員會ニ於テ希望條件ヲ付ケマシタ所ノ第二ノ條件、之ニ付キマシテ組合ノ負擔ヲ輕減スベク、適當ナル措置ヲ講ズルコトニ御努力ヲ願ハシケレバ相成ラスト共ニ、此法ノ實施ニ當リマシテモ、能ク是等ノ關係ヲ考慮致シマシテ、内地カラ北海道ニ移リ、漸クニシテ是マデニ成功ヲ致シタ者ヲ、此不況ノ場合ニ唯、僅ナル滯納ノ爲ニ其土地ヲ失ハシメテ、慘憺タル狀態ニ陥レマセヌヤウニ、適當ナル運用上ノ注意ガ必要ナノデアリマス、此點ニ對スル希望ヲ述ベマシテ、本案ニ對シテノ贊成意見ヲ申述ベタ次第デアリマス(拍手)

●議長(藤澤幾之輔君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
●議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
●岡本實太郎君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開クニ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
●議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
●岡本實太郎君 日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際政府提出汚物掃除法中改正法律案ヲ議題トナシ、委員長ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス
●議長(藤澤幾之輔君) 岡本君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
●議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、汚物掃除法中改正法律案ノ第一讀會ヲ續ク開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、中馬興丸君汚物掃除法中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
報告書
一汚物掃除法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也
昭和五年五月三日 委員長 中馬 興丸
〔中馬興丸君登壇〕
●議長(藤澤幾之輔君) 衆議院議長藤澤幾之輔殿
●中馬興丸君 汚物掃除法中改正法律案ノ委員會ノ經過並ニ結果ヲ御報告致シマス
〔汚ナイト呼フ者アリ〕
此案ハ汚ナイト仰シヤルガ、極メテ汚ナイ物ヲ綺麗ニスル案デアリマスカラ御聽取ヲ願ヒマス、委員會ヲ開クコト二回、委員ト政府委員トノ間ニ質問應答ヲ繰返シマシテ、全會一致ヲ以テ原案ノ通り可決致シマシタ、此段御報告ヲ申上ゲマス(拍手)

●議長(藤澤幾之輔君) 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
●議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、本案ハ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ
●岡本實太郎君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
●議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キマス
●議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キマス
汚物掃除法中改正法律案第二讀會(確定議)
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
●議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ(拍手)
●岡本實太郎君 重ネテ日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、即チ此際政府提出、朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案ヲ議題ト爲シ、委員長ノ報告ヲ求メ、其審議ヲ進メラレンコトヲ望ミマス
●議長(藤澤幾之輔君) 岡本君ノ動議ニ御異議アリマセヌカ
〔異議ナシト呼フ者アリ〕
●議長(藤澤幾之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ日程ハ變更セラレマシタ、朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案ノ第一讀會ヲ續ク開キマス、委員長ノ報告ヲ求メマス、委員長大島要三君
朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出)
第一讀會ノ續(委員長報告)
報告書
一朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出)
右ハ本院ニ於テ可決スヘキモノト議決致候此段及報告候也

昭和五年五月三日

委員長 大島 要三

衆議院議長藤澤幾之輔殿

〔大島要三君登壇〕

●大島要三君 朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案ハ特別委員會ヲ三回ニ續キマシテ開キマシテ、質問應答ヲ重ネマシタ結果ハ特別委員一致致シマシテ之ヲ原案ノ通り賛成致シマシタ次第アリマス、右報告致シマス〔拍手〕

●議長〔藤澤幾之輔君〕 本案ノ第二讀會ヲ開クニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

●議長〔藤澤幾之輔君〕 御異議ナシト認メマス、本案ノ第二讀會ヲ開クニ決シマシタ

●岡本實太郎君 直ニ本案ノ第二讀會ヲ開キ、第三讀會ヲ省略シテ、委員長報告ノ通り可決セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成〕〔贊成ト呼フ者アリ〕

●議長〔藤澤幾之輔君〕 御異議ナシト認メマス、仍テ直ニ第二讀會ヲ開キマス

朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案

第二讀會〔確定議〕

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

●議長〔藤澤幾之輔君〕 御異議ナシト認メマス、仍テ第三讀會ヲ省略シテ委員長報告ノ通り可決確定致シマシタ〔拍手〕是ニテ暫時休憩致シマス

午後一時四十一分休憩

午後四時三十六分開議

●議長〔藤澤幾之輔君〕 休憩前ニ引續キ會議ヲ開キマス、御諸リスルコトガアリマス、第二部選出豫算委員平野光雄君、第五部選出豫算委員藤田若水君、第八部選出豫算委員堤康次郎君、右各常任委員辭任ノ申出ガアリマス、許可スルニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

●議長〔藤澤幾之輔君〕 御異議ガナケレバ許可致シマス、其部ノ諸君ハ速ニ補選選舉

ヲ行ヒ、御届ケアランコトヲ望ミマス——中田縣郎君カラ議事進行ニ付テノ發言ヲ求メラレテ居リマス、中田縣郎君

〔中田縣郎君登壇〕

●中田縣郎君 議事進行ニ付キマシテ議長ニ質問ヲ致スノデアリマス、武藤山治氏ノ名ヲ以テマシテ提出シテゴザイマス救護法施行ニ關スル決議案ハ、本特別委員會ノ開會ノ傍頭即チ四月二十四日ノ日付ヲ以テマシテ、議長ノ手許マデ提出シテアルニ拘ハリマセズ、今日マデ御上程ノナイノハ如何ナル次第デアリマスカ、御答ヲ願ヒタイノデアリマス、御存知ノ通り此救護法ハ曩ニ第五十六議會ニ於キマシテ、滿場一致ヲ以テマシテ通過シマシタ所ノ法律デアリマシテ、時代ノ趨勢ニ鑑ミテ最モ緊急ニシテ必要ナルモノト認メラレタモノデアアルノデアリマス、ニ拘ラズ其後政府ニ於テ如何ナル御都合デアリマスカ、未ダ其施行ノ勅令ヲ發布サレズ、又當議會ニ於キマシテモ其豫算ノ御提出モナイノデアリマス、然ルニ此救護法ノ施行ハ現代ノ世相ニ鑑ミマシテ、我國ノ國民全體ガ一日モ早く其施行ヲ見タイト云フコトヲ熱望致シテ居ルノデアリマシテ、現ニ私ハ靜岡縣ニ於テ、縣ノ社會事業協會ノ副會長ヲ致シテ居リマスガ、現ニ靜岡縣ニ於キマシテモ社會事業協會等ニ於テ、非常ニ此施行ノ速カナランコトヲ熱望致シテ居リマス關係上、恐ラクハ此施行ハ全國ノ國民ノ聲トシテ、其一日モ速ニ施行サレルコトヲ望シデ居ルモノト考ヘテ居ルノデアリマス、サウシテ此武藤山治氏ノ名ヲ以テ提出シテアリマス所ノ決議案ハ此特別委員會ニ其勅令ヲ發布サレ、茲ニ豫算案ヲ提出サレタイト云フコトヲ希望ノ下ニ提出サレテ居ルノデアリマスカラ、會期ノ短イ此議會ニ餘リ遅ク上程サレマスレバ、吾々ノ希望ヲ達スル上ニ非常ナル障礙トナルモノト考ヘルノデアリマス、議長ガ今日ニ至ルマデ其上程ヲサレナイノハ如何ナル理由デアリ

マスカ、何卒速ニ是ガ上程ヲ見ルヤウニ御取計ヒヲ願ヒタイト云フコトヲ希望スルト同時ニ、議長ノ御答ヲ願ヒタイノデアリマス

●議長〔藤澤幾之輔君〕 御答致シマス、中田君モ既ニ御承知ノ通り、殆ド連日會議ヲ開イデ居ルノデアリマスガ、未ダ法律案、建議案等澤山アルノデアリマス、併シ何レ近イ中ニ上程スルヤウニ相成ラウト思ヒマス、ドウゾ左様御承知ヲ願ヒマス

●岡本實太郎君 日程變更ノ緊急動議ヲ提出致シマス、此際日程ヲ變更シ、國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ヲ繼續セラレンコトヲ望ミマス

〔賛成〕〔贊成ト呼フ者アリ〕

●議長〔藤澤幾之輔君〕 岡本君ノ動議ニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

●議長〔藤澤幾之輔君〕 御異議ナシト認メマス、仍テ國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ヲ繼續致シマス、通告順ニ依テ發言ヲ許シマス、片山哲君

一 國務大臣ノ演說ニ對スル質疑

〔片山哲君登壇〕

〔前會ノ續〕

●片山哲君 我ハ無產階級ノ立場カラ濱口首相ノ施政方針演說ニ對シ、主トシテ失業對策ヲ中心トシテ質問致シタイト思フノデアリマス、只今議長ニ首相、内相、農相及逓相ノ出席ヲ求メテ居ルノデアリマス、私ハ開會以來首相ノ答辯ヲ聽キマシタガ、失業對策ニ關スル具體案ガ殆ドナイト云フコトヲ感ジマシタ、其具體案ノ有無ニ付テ私ハ是カラ質問ヲ開始致シタイト思フノデアリマス、併ナガラ其前ニ私ハ先ヅ今日最モ問題ニナツテ居リマス所ノ軍縮會議ニ關スル、政府ガ海軍ノ保有勢力ノ決定ニ關シ執リタル處置ニ對シ、在野黨カラ質問サレテ居リマスルコトニ關シ、政府ノ答辯ガ

極メテ朦朧トシテ居リ、且又不誠意デアアル此答辯回避ノ態度ニ付キマシテ、吾々無產大衆ノ立場カラ、一言政府ノ意見ヲ聽カナクレバナラヌト思フノデアリマス

此問題ニ付キマシテハ國民負擔ノ輕減ニ關スルコトデアアルカラ、今日無產大衆ハ此問題ニ付キ全然無關係デアアルコトハ出來ナイノデアリマス、其意味ニ於テ先ヅ吾々ノ立場ヲ明ニシナクレバナラヌト思フノデアアル、而シテ其質問ノ要旨ヲ明ニスルコトガ質問ノ前提トナルト考ヘルノデアリマス、此問題ハ今日マデ繰返サレテ居ル經過ヲ見ルト、海ニ意義ナキ論爭ナリト信ズル、殊ニ在野黨タル政友會ノ諸君ノ意見ヲ聽クト、主トシテ是ハ鳩山一郎君ニ依テ代表サレテ居ル質問ノ要旨ヲ考ヘテ見ルナラバ、ドウゾアルカ、即チ國防計畫ニ關シ軍部ノ意見ニ反對シ、或ハ又之ヲ變更シタル政府ノ責任如何ト云フコトヲ中心トシテ、質問サレテ居ルノデアアルケレドモ、濱口首相ハ之ニ對シテ何等ノ回答ヲ與ヘテ居ナイ、更ニ又豫算總會ニ於テ、前田米藏君ノ憲法論ニ關スル質問ニ對シテモ、即チ憲法第十一條ニ依ルカ、或ハ第十二條ニ依ルカト云フ質問ニ對シテモ、首相ハ少シモ明快ナル答辯ヲ與ヘズ、答辯回避ノ態度ニ終始致シテ居ルノデアリマス、私ハ此濱口首相ノ態度、即チ明答ヲ與ヘナイ、回答ヲ回避シテ居ル態度ヲ私ハ攻撃シナクレバナラヌト云フデアリマス〔拍手〕今日吾々ハ此普選ノ議會ニ於テ、殊ニ軍部ト今日ノ憲法政治トノ關係ニ於キマシテ、最モ明快ナル處置ヲ吾々ハ要求シテ已マナイノデアアル、殊ニ今日現政府ハ明ルク強キ政治、公明ナル政治ト云フコトヲ主張セラレテ居ルガ、其濱口首相ガ斯様ナ重大ナル憲法論ニ對シテ明答ヲ與ヘズ、且又朦朧ナル說明ヲシテ居ルト云フコトハ、如何ナル處存デアアルカ、又如何ナル態度デアアルカ、之ニ對シ大ニ吾々ハ國民ノ聲トシテ攻撃シナクレバ

一 二七

官報號外 昭和五年五月四日 衆議院議事速記第八號 朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案 第二讀會〔確定議〕 國務大臣ノ演說ニ對スル質疑

ナラヌノデアル

吾々ハ學問上カラ考ヘマシテモ、今日ノ憲法學者ノ意見カラ申シマシテモ、軍縮會議ニ於テ現政府ガ執リマシタル其處置ハ、即チ憲法上カラ見ナラバ、明カニ憲法第十二條ニ依ル政府輔弼ノ責任ニ歸スベキ問題デアルト云フコトヲ信ズルノデアル、吾等ノ態度、即チ憲法ニ對スル態度ヲ明カニ致シマスナラバ、明カニ憲法第十二條ニ依ルベキモノデアルト云フコトヲ確信スルモノデアリマス、首相ハ先ヅ其立場ヲ明カニシテ掛カルコトガ、今日憲法政治ヲ樹立スル上ニ於テ、最も必要ナルコトデアルト云フコトヲ確信スルモノデアリマス、之ニ對シテ濱口首相ハ何故ニ憲法第十二條ニ依ルモノデアルト云フコトヲ明確ニシナイノデアルカ、斯ウ云フ立場ヲ取ルト云フコトガ、即チ明ルキ政治ヲ爲ス所以デアルト云フコトヲ何故濱口首相ハ考ヘナイノデアリマセウカ、答辯ヲ回避セラレテ居ルト云フ其處置ハ、明ルキ政治ヲ布クト云フコトヲ裏切ルト共ニ國民ヲ欺瞞スル言葉デアッタト云フコトヲ言フテモ、敢テ差支ナイト斷言シ得ルノデアリマス更ニ又政友會ノ攻擊論ヲ解割シテ見ナラバ、政友會ノ諸君ノ考ハ今日政府ノ執リマシタル處置ヲ、憲法第十二條ニ依ルト云フ論法ヲ採ラズシテ、時代錯誤ノ第十一條ニ依ル議論ヲ採ッテ居ルヤウニ考ヘラレルノデアリマス、是ハ吾々カラ見ナラバ、此問題ヲ先ヅ明確ニシテ出發シナケレバナライ、今日吾々ガ明確ニ聞カントスル問題ハ、即チ此軍閥ニ對スル問題ト、今日ノ憲法政治ニ對スル態度ヲ聞カントスルモノデアアルガ、大政黨タル政友會ノ諸君ノ質問ノ要旨ハ、其問題ヲ明カニセズシテ敢テ軍閥ニ媚ビルガ如キ態度ヲ執ッテ居ルノデアアル、吾々ハ是ニ於テ此憲法第十二條或ハ十三條ノ問題ヲ考究シテ見ナラバ、明カニ此問題ニ對スル判斷ヲ明確ニシ得ルノデアアル然ルニモ拘ラズ今マデ繰

返サレテ居リマスル質問ハ、少シモ要點ニ觸レズシテ、唯政爭ノ具トシテ居ルノデアアルコトヲ吾々ハ判斷スルノデアリマス、斯ル問題ヲ捉ヘテ貴重ナル時間ヲ費シ、國民ガ聞カントスル所ノ經濟問題、或ハ失業對策ニ關スル問題ヲ中心トシテ議論セラレナイト云フコトハ、甚ダ遺憾千萬デアアル今日ハ既ニ一千九百三十年デアッテ、世界平和或ハ軍縮ニ關スル國民要求ノ聲ハ全國ニ揚ッテ居ルノデアリマスルガ、普選第二次直後ノ特別議會ニ於テ、斯ル反動的ナ問題ヲ以テ茲ニ論議セラレテ居ルノハ、實ニ時代錯誤ナリト、私ハ斷言セザルヲ得ナイノデアアル、是ニ於テ此憲法論ニ對シ、濱口首相ハ今迄ノ行懸リヲ一擲シ、今迄軍部或ハ軍閥ニ對シテ洵ニ恐レ戰イテ居ル態度ヲ捨テ、最も勇敢ニ、最も果敢ニ、此問題ニ對スル明快ナル答辯ヲ爲スコトガ、濱口首相ノ執ルベキ態度ナリト吾々ハ信ズルノデアアル、此問題ニ付キマシテハ即チ反動的ナ態度ヲ執ッテ居ル政友會ニ對シテ、或ハ又極メテ因循姑息ナル態度ヲ執ッテ居リマスル所ノ民政黨ニ對シ、此兩既成政黨ニ對シテ、私ハ大ニ痛棒ヲ加ヘナケレバナラスノデアアル、濱口首相ガ今日執ッテ居ル軍部ニ對スル媚比諛、居ル態度ガ若シ必要デアリ、今日ノ事情ニ於キマシテサウセナケレバナライト云フコトデアッタナラバ、今迄ノ聲明ヲ裏切ルコト甚シキモノナリト謂ハザルヲ得ナイ、サウ云フ態度ヲ一掃シ勇敢ニ進マナケレバナライ、若シ貴族院ガ之ニ對シテ反對ヲスルナラバ、或ハ樞密院ガ此問題ニ對シテ反對ノ解釋ヲ執リ、反對スルナラバ、或ハ又舊來ノ傳統ノ勢力ガ此態度ニ對シテ極メテ古キ解釋ヲ固執スルナラバ、恐ラクハ國民全體ハ今日憲法第十二條ニ依ル議論ヲ支持シ、憲法第十二條ニ依ル憲法政治確立ノ爲シ、民衆ノ聲ガ揚ッテ來ルト云フコトヲ私ハ信ジテ疑ハナイノデアアル(拍手)今日既ニ各新聞ノ論調ヲ見マシテモ、或ハ新聞

ニ掲ゲテ居ル所ノ學者ノ意見ヲ見テモ、新ラシキ解釋ヲ下ス絶好ノ機會デアアル、此絶好ノ機會ニ濱口首相ハ何故其態度ヲ因循姑息ニシ、曖昧朦朧ニシテ居ルノデアルカ、吾々ハ之ヲ追及セザルヲ得ナイノデアアル、此軍閥打破絶好ノ機會ニ宜シク濱口首相ガ最も明快ナル答辯ヲ與ヘラレテ、且又今日ノ軍閥ノ勢ヒ、軍閥ノ干涉、在來ノ傳統ノ勢力ヲ驅逐シテ、新シク憲法政治確立ノ爲ニ戰ハナケレバナラヌコトヲ私ハ警告スルノデアリマス、其意氣ト其熱意アリヤ否ヤヲ、私ハ濱口首相ニ質問致スノデアリマス、此問題ニ關スル憲法ノ論據ト、而シテ今日軍縮會議ニ付キ執リタル處置ニ對シ、今迄ノ答辯回避ノ態度ヲ放擲シ新シク最も果敢ニ、即チ憲法政治ニ對スル新シキ確信ヲ明カニスル意思アリヤ否ヤ、茲ニ私ハ其所見ヲ首相ニ質問スルモノデアリマス

第二ニ失業問題ニ對スル質問ヲ私ハ致シタイノデアリマス、今日失業者ガ何故斯様ニ激増シテ居ルノデアルカ、今日ハ普通ノ狀態ヨリモ急速度ヲ以テ失業者ハ殖エテ居ル、不景氣ノ度ガ加速度ヲ以テ進行シテ居ル根本問題ヲ考ヘテ行カナケレバナライ、其原因ヲ追究シテ、而シテ之ニ對スル對策ヲ執ッテ行カナケレバナライ、漫然ト今日失業者ハ三十五萬デアルトカ、或ハ八十万デアルトカ、或ハ百万デアルトカ、斯様ニ唯數字ヲ羅列シ、之ニ對スル對策ハ斯ウ云フ風デアルト云ッテ、唯、其處ニ現ハレタ事實ヲノミ見ルダケデハ宜シクナイ、進ンデ何故ニ今日ノ失業者ガ斯様ニ加速度ヲ以テ激増シタモノデアアルヤ否ヤト云フ、其問題ヲ能ク攻克シテ行カナケレバナライノデアアル、此失業者激増ノ原因如何ト云フコトヲ私ハ政府ニ尋ネタイノデアアル、私ハ今日此問題ヲ考ヘマシテ、三ツニ分ケテ之ヲ論及シ、私ノ質問ノ要旨ヲ明確ニ致シタイノデアリマス、即チ今日失業者激増ノ第一ノ原因ハ、今迄繰返サレタル金解禁ノ問題デアルケレドモ、併ナガラソレハ唯、時機ノ問題ニ付テノミ政友會ハ攻撃ヲ加ヘ、政府ハ又之ニ對シテノミ答辯シテ居ルダケデアアルガ、私ハソレニ對シテ金解禁ノ方法ガ誤ッテ居タト云フコトヲ更ニ強ク主張シナケレバナライ、即チ政府ハ何故ニ舊平價ニ依ル所ノ解禁ヲシタノデアアルカ、新平價解禁ヲ何故ニ斷行スルノ勇氣ヲ有タナカッタノデアアルカ、此點ヲ質シタイノデアリマス、即チ舊平價ニ依ル金解禁ヲシタナラバ、當然急激ニ物價下落ヲ來スノデアリマス、物價ガ急激ニ下落スルナラバ、之ニ依ッテ利得ヲシ、且又之ニ依ッテ損害ヲ轉嫁シ得ルモノハ誰デアアルカト云フト、即チ是ハ債權者、金ヲ持ッテ居ル階級デアリマス、其債權者ハ即チ今日數字ヲ擧ゲテ見ナラバ、國債五十八億圓ノ中七割迄ハ、金融資本家ノ手ニ這入ッテ居ルノデアリマス、社債ノ中デモ社債十三億圓ノ中、其八割迄ハ是亦金融資本家ノ手ニ這入ッテ居ルノデアリマス、舊平價ニ依ル金解禁ノ結果、ソレガ爲メ債權者ハ一割五分ノ利得ヲ致シテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ風ニ債權者ガ不當ナル利得ヲ致シテ居ルノデアリマス、是ガ爲メ損害ヲ被ル者ハ誰デアアルカト云フナラバ、即チ金ヲ持ッタル者ヲ受ケル我々無產者ハ、之ヲ他ニ轉嫁シヤウト思フデモ、或ハ之ヲ他ニ廻サウト思フデモ、其方法ト其機會ヲ持ッナイノデアアル、斯様ニシテ今日舊平價ニ依ル金解禁ニ依ッテ、債權者ト債務者即チ金融資本家ト無產階級ニハ非常ナル差ガ出來テ、今日多クノ犧牲ヲ無產階級ハ強ヒラレルノデアリマス、無產階級ハ此強ヒラレタ其犧牲ヲ如何ニ展開スルコトガ出來ラレタト云フト、無產階級ハ有エル方法ヲ剝奪セラレテ居ルノデアリマス、是ニ於テ政府ハ其問題ニ對シ如何ナル經濟對策ヲ取ッテ居ルカト云フナラバ、御承知ノ

通り所謂消費節約、或ハ緊縮政策ノミヲ執ッテ居ルノデアル、消費節約ハ即チ消費ノ方面バカリヲ考ヘテ行クノデアル、何故此時ニ收入ノ方面ヲ考ヘテ行カナイノデアルカ、不當ナル收入ヲ致シテ居ル有産階級ノ不當收入ノ問題ヲ、何故追窮シ、之ニ對シテ斧鉞ヲ加ヘナイノデアリマセウカ、不當ナル收入ヲ爲スモノトハ何デアルカト申シマスナラバ、即チ會社デ不當ナル配當ヲ致シテ居ルモノデアル、或ハ又資本家ガ損ヲ致シマシテ、國家カラ其損害ノ填補ヲ受ケテ居ル、所謂先般ノ十億圓ノ特別融資ト云フ問題ノ如キ、總テ金融資本家階級ハ自分ノ損害ヲ國家ニ填補サセウツト云フコトヲ考ヘテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ風ニシテ、第一ハ舊平價ノ金解禁ニ依ッテ今日金融資本家階級ハ一割五分ノ利得ヲ受ケテ居ル、又其利得ヲ非常ニ能ク廻スコトガ出來ル特別ナル便宜ヲ得テ居ルノデアル、斯ノ如ク政府ノ緊縮政策ニ依ッテ消費ノ方面バカリヲ考ヘ、收入ノ方面ニ少シモ斧鉞ヲ加ヘナイ結果、不當ナル收入ニ依ッテ生活ヲ致シテ居ル階級即チ有産階級ハ、益々太テ來ルト云フ必然的の狀勢ガ現レテ來ルノデアリマス、斯様ニシテ今日政府ノ執ッテ居ル所ノ不景氣對策ト云フモノハ、無産階級ニ忍ビ得ザル所ノ苦痛ヲ與ヘルガ、有産階級特ニ金融資本家階級ニ取ッテハ、此機會ヲ利用シ、自分達ノ懐ヲ肥ス利便ヲ得テ居ルノデアリマス、斯様ニ致シテ今日失業者ハ普通ノ狀態ヨリモ倍以上ニ激加シ、且又其數ガ激増シ、加速度ニ其失業者ガ殖エテ來ルヤウナ計算ニナッテ來ルノデアリマス、内務省社會局ノ發表ニ依ッテモ、半箇年ニ十萬人ノ失業者ガ殖エル、一日ニ五百人ノ失業者ガ殖エルト云フヤウナ結果ニナッテ居リマス、實際ニ於テハ、恐ラク百万人餘ノ失業群ノ存在ヲ諸君ハ十分ニ承認シナケレバナラヌコト、私ハ考ヘルノデアル、此加速度ヲ以テ殖エマシタ失業者ニ對スル對策ヲ致シマ

シテ、先般カラ承ルト政府ハ更ニ第二段ニ於テ、所謂産業合理化ノ方法ニ依ラントスルノデアリマス、此産業合理化ニ付キ、先般豫算總會ニ於テ西尾君カラ依商工大臣ニ對シ質問致シマシタケレドモ、其答辯ハ極メテ曖昧デアッテ少シモ要領ヲ得ナイ、私ハ今日政府ノ執ッテ居ル所ノ産業合理化ハ、明カニ資本家階級擁護ノ産業合理化デアルト云フコトヲ斷言スルノデアル（「ノー」）（「其通り」ト呼フ者アリ）何トナラバ政府ノ執ッテ居ル産業合理化ハ、ソレハ利潤本位デアアル、今日資本主義ノ經濟組織ニ於テハ、資本主義ノ混沌タル體系ハ愈々煩悶焦慮ノ過程ヲ辿リツ、アル、此資本主義體系ノ何トカシテ統一整理シテ利潤ヲ多カラシメ、一時的安定ヲ得タイト苦悶シツ、アルノデアル、彼等資本家ハ所謂資本ノ統制トカ、或ハ又労働ノ機械化トカ、色々問題ガソコニ絡マッテ參ルノデアリマス、主トシテ是ハ生産方面カラノミ考ヘタ問題デアッテ、今日政府ノ執ッテ居リマス産業合理化ハ、所謂利潤ヲ如何ニシタナラバ殖スコトガ出來ルカト云フ、利潤經濟ノ見地ニノミ立ッテ居ル合理化運動デアッテ、其現レル所ハ何デアアルカト云フナラバ、先ヅ労働力ト云フモノヲ機械化シテ行カナケレバナラヌ、之ヲ科學化シテ行カナケレバナラナイ、斯様ニシテ彼等ノ執ッテ居ル産業合理化ニ依ッテハ、當然失業者ガ殖エテ參ルノデアリマス、先般大山君ガ此處デ質問サレマシタ通り、今日ニ於ケル産業合理化ニ依ッテ、先ヅ獨逸ニ於テハ何百万ト云フ失業者ガ現レテ居ル、又米國ニ於キマシテモ失業者ガ殖エテ來ル結果、多クノ失業者ガ現レテ居ルノデアリマス、斯様ニシテ事實ニ於テ、今日政府ノ執ッテ居ル産業合理化ニ依ッテハ、必然的ニ多數ノ失業者ヲ生ムト云フコトヲ實證サレタリト、私ハ壇上ヨリ斷言シテ憚ラナイノデアリマス、斯ウ云フヤウナ立場デアリマスカラ、即チ金解禁ノ方法ヲ誤タコト、又收入

問題ニ少シモ觸レザル消費節約ト云フ問題ヲノミ高調シタル結果、失業者ガ加速度ヲ以テ増加シ、更ニ之ニ加重スルニ産業合理化、即チ資本家階級擁護ノ、利潤本位ノ産業合理化ヲ配スルガ故ニ、輪ニ輪ヲ掛ケマシテ今日失業群ガ百万ヲ算スル大嵐ノ襲來トナタモノト、私ハ確信スル者デアアル、吾カラ考ヘルナラバ、斯様ナ意味ノ産業合理化ハ實ニ有害デアッテ何等ノ價值ガナイ、然ラバ如何ナル産業合理化ヲ主張スルカト謂フナラバ、今日ノ産業合理化ハ即チ生活ト云フコトヲ基準トシテ行カナケレバナラナイ、利潤經濟ニ對シマシテ私ハ厚生經濟ト云フ言葉ヲ採リタイト思フ、即チ國民全體、民衆全體ノ幸福ノ爲ニ、今日ノ産業合理化シテ行カナケレバナラナイ、是ハ何デアアルカト云フナラバ、先ヅ動力産業ノ社會化ヲ斷行シナケレバナラナイ、何トナラバ今日ノ電力ヲ御覽ナサイ、或ハ土地ヲ御覽ナサイ、或ハ瓦斯ヲ御覽ナサイ、總テ是ハ資本家ノ營利事業ニ委セラレテ居ルノデアリマセウカ、此今日ノ動力産業、或ハ資源産業ト云フモノヲ社會化シマシテ、或ハ之ヲ公有化スル、或ハ之ヲ國有化スル、斯様ニシテ、動力産業ノ社會化ヲ實現スルニ非ザレバ、失業問題ヲ解決スルコトガ出來ナイ、政府ノ稱スル今日ノ此産業合理化ニ依ッテハ、失業者ガ増加スルノミナリト私ハ信ジテ疑ハナイノデアル、尙此ノ外ニ私ハ此社會的統制ニ依ル重要産業ノ民衆化ヲ主張シナケレバナラナイ、左様ニシナケレバ今日ノ所謂産業合理化ハ、實ニ資本家本位、利潤本位ナリト斷言サレモ、何等ノ抗辯ノ餘地ハナカラウト私ハ考ヘルノデアアル、然ラバ重要ナル産業ノ社會化ニ關連シテ労働ノ價值ト云フコトヲ考ヘテ行カナケレバナラナイ、即チ今日ノ民衆ノ労働力ト云フコトヲ考ヘテ行カナケレバナラナイ、労働力或ハ労働價值ト云フコトヲ考ヘルナラバ、今日ハドウシテモ多勢ノ團結權、所

謂労働組合ノ力ト云フコトヲ産業上ニ於テ重要視シナケレバナラヌ、斯クシナケレバ今日ノ産業合理化ハ失業者ヲ激増スルモノナリト斷言シテ差支ナイト私ハ信ジテ疑ハナイノデアル、此意味ニ於テ政府ノ執ッテ居リマス産業合理化ハ、少シモ労働組合法或ハ労働組合ノ公認、サウ云フ問題ニ付テハ觸レテ居リマセウカ、觸レテ居ラナイモノデアリマスルカラ、當然ノ歸結ト致シマシテ、産業合理化ハ必ズ多クノ失業者ヲ生ジデ居ルノデアリマス、私ハ此意味ニ於テ今日資本家本位ノ合理化、利潤經濟ヲ驅逐シ、厚生經濟ニ依ル新シキ産業合理化ガ、必然的ニ叫バレナケレバナラヌト信ズルノデアル、斯ウ云フ経路ヲ經テ茲ニ失業者ガ、加速度ヲ以テ激増ヲシテ參ルノデアリマス、此原因ヲ明確ニシ、扱テ之ニ對スル失業對策ヲ樹立シナケレバナラナイノデアル、然ルニ拘ラズ、只今マデ政府ノ方針ヲ聽キマスルト、此失業對策トシテ現ハレテ居ルモノハ、極メテ朦朧タルモノノミデアアル、曰ク産業ノ振興、曰ク職業紹介事業ノ發展等デアアル、斯様ナル産業ノ振興デアルトカ、或ハ職業紹介事業ノ發展デアルトカ、斯様ナ對策ハ殆ド是ハ聽ク必要ノナイ言葉ノミデアアル、或ハ教育ヲ旺ニスベシトカ、農村ヲ盛ニスベシトカ、或ハ健康ヲ増進スベシトカ、斯様ナ言葉ト同様デアッテ、政府ノ具體的政策トシテハ全ク、一文ノ價值モナイ言葉デアルト私ハ信ズル（拍手）何故ニモット具體的ニ今日現レテ居ル失業者ヲ、如何ニスレバ救済スルコトガ出來ルトカ云フ、具體案ヲ出シテ行カナケレバナラナイ、私ハ此意味ニ於テドウシテモ不合理ニ激増致シテ居ル此失業者ニ對シテハ、先ヅ食ヲ與ヘルト云フコトガ第一デアル、然ラザレバ金ヲ與ヘルコトガ第二デアッテ、是レ以外ニハ、今日ノ失業者ハ救済出來ナイノデアリマス（馬鹿ナコトヲ言フナ）ト呼フ者アリ、若シ其以外ニ方法ガアルナラバ私ハ伺ヒタイノデアル、政

府ガドウ云フ對策ヲ以テ大嵐ノヤウナ、怒濤ノヤウナ此失業群ヲ救済シ、之ニ對スル對策ヲ執テ居ルノデアリマセウカ、其點ヲ伺ヒタイノデアリマス、殊ニ地方起債トシテ、所謂二千四百萬圓ノ起債ガ許可サレルト謂フガ、若シ三十萬ノ失業ガアリトセバ起債ノ三分ノ一タル七百五十萬圓ノ貸銀ニ宛テ、モ一日一圓ノ貸銀ヲ與ヘマスルナラバ、其起債ダケデハ僅ニ三週間デ消エテ無クナリシマウノデアリマス、若シ百萬人ノ失業ガアリト致シマスルナラバ、一週間デ其金ハ無クナリシマフ、斯ノ如ク非常ニ激化致シテ居リマス失業對策トシテ、斯様ナ鼻糞ノヤウナ金デ果シテ此失業群ヲ救フコトガ出來マセウカ、大法螺ヲ吹ク此態度、其根據ヲ私ハ嗤ハナケレバナラヌト思ヒマス、吾々ハ之ニ對スル主張ヲ爲セバ更ニ大キナ事業ヲ起ス爲ニ、地方起債ヲ起スコト——即チ起債ニ依ルナラバ、少クトモ一億圓ノ起債ヲ起シテ、之ニ對スル貸銀三千萬圓ト云フ計算ヲ立テ、失業者ニ所謂職ヲ與ヘル事業ノ財源ヲ樹立シナケレバナラヌト思フノデアリマス（百億圓出シテヤルカラ安心シロト呼フ者アリ）之ニ依ラザル失業對策ハ前述ノ如ク無爲無能無策デアリマスカラ、失業者ハ必ズ其數ハ増加シ、更ニ其度ヲ激化スルコトヲ豫言シテ憚ラナイノデアリマス、若シ社會不安ノ動亂ガ起テ參リマシタナラバ——失業群ガ更ニ其度ヲ激化シテ參リマスル場合ニ於テハ、政府ハ如何ナル對策ヲ之ニ持テ居ルノデアリマスカ、治安ヲ維持スル上ニ於テ果シテ如何ナル見地ヲ持テ居ルノデアリマセウカ、私ハ內務大臣ニ其點ヲ伺ヒタイノデアル

ハ、農村振興、或ハ農民ノ窮乏ヲ救済スルコト云フ對策ヲ、殆ド言及サレテ居ラス、此問題ニ付イテ私ハ數字ヲ舉グルナラバ、所謂金解禁ニ依リ極度ニ窮乏ヲ受ケテ居ル農民ハ、即チ農産價格ノ假ニ三十三萬圓ト致シマスナラバ、此舊平價解禁ニ依リテ一割五分ノ損害ヲ受ケテ居ル、即チ金額ト致シマスナラバ四千五百萬圓ノ收入減ヲ農民ハ受ケテ居ル結果ニナリマス、又農民ノ負債ガ今日幾ラアルカト申シマスナラバ、諸君既ニ御承知ノ通り約五十億圓ノ負債ヲ農民ハ背負テ居ルノデアリマス、是ガ又舊平價金解禁ニ依リマシテ、今日ハ先ヅ一割五分、即チ七億五千萬圓ノ負債増額ト云フ結果ニナルノデアリマス、上下下カラ左様ニシテ増加シタ爲ニ、結局十二億四千五百萬圓ノ損害ヲ受ケナケレバナラヌト云フ結果ニナルノデアリマス、之ヲ農家五百五十萬戸ニ當テテ見ルナラバ、一戸當リ平均二百二十四圓ノ損害ヲ受ケナケレバナラヌ結論ニナルノデアアル、斯ル農民ノ負債ヲ救済スル爲ニ、政府ハ一體ドウ云フ具體策ヲ有テ居ルノデアアルカ、即チ之ニ對シテ吾々ノ考ヲ申シマスナラバ、今日存在スル農村金融機關ハ殆ド商工業者、或ハ資本家ノ手ニ掌握セラレ、生産農業者ノ壓迫搾取スルコトニ依テ自分ノ懷中ヲ肥ヤサントスル機關デアルト謂ヒ得ル、依テ是カラノ農村特別金融機關ハ新シキ構成ニ依テ造ラレナケレバナラナイ、所謂物的擔保ヨリノ解放シ、即チ物ガ無クトモ、生産ニ必要ナル所ノ農業資金ヲ政府ガ貸付ケル方法ヲ與ヘテ行カナケレバナラナイ、所謂具體的ニ謂フナラバ、私ハ農村銀行、或ハ農村特別銀行ト云フモノヲ國營ヲ以テ設立シテ、之ヲ通ジ國庫金ヲ以テ農民ノ窮乏ヲ救済スル對策ヲ講ジテ行カナケレバナラナイ、今日ハ肥料業者ニ依テ搾取サレテ居リマスカラ、肥料ハ宜シク公營シテ行カナケレバナラナイ、或ハ農民モ種子モ今日總テ農民ノ負擔ヲ輕減スル爲ニ、肥

料公營、或ハ農具公營、種子公營等ノ方法ヲ以テ行カナケレバナラナイト信ジマス、斯クシテ行カナケレバ到底此五十億圓、更ニ今日不景氣ニ依テ加重セラレテ來ル農民ノ大負債ヲ救済スルコトガ絶對ニ出來ナイト云フコトヲ私ハ斷言スルノデアリマス、更ニ今日ノ小作人ノ立場ヲ救済スル爲ニ、何故政府ハ小作法ヲ制定シナイノデアアルカ、今日ノ小作人、即チ農民ノ中ノ七割迄ヲ占メテ居ル小作人ハ、攻勢的ナル地主ノ壓迫ト、政府ノ無策ニ依テ二重ノ搾取ヲ受ケテ居ルノデアリマス、此農民、小作人ニ對シテ如何ナル對策ヲ持テ居ルカト云フコトヲ質シタイ、即チ小作法ヲ何故制定シナイカ、是ハ政友會時代ニ於テハ所謂自作農制定主義ヲ採リタルデアアルガ、民政黨ハ果シテ自作農制定主義デアアルカ、或ハ小作立法主義デアアルカ、其根據ヲ何レニ置イテ居ルヤ、町田農相ニ問ハントスルモノデアリマス、自作農制定主義ニ對シテ政府ハ小作立法主義ヲ採リテ居ルト云フナラバ、今日窮乏シテ居ル所ノ農民救済ノ爲ニ、何故ニ此特別議會ニ小作法ヲ提案シナイノデアアルカ、既ニ準備トシテ或ハ審議會ニ於テ、或ハ委員會ニ於テ、ソレモ審議セラレテ居ルノデアリマスカラ、ソレヲ何故特別議會ニ提出シテ、議會ノ審議ニ委サレナイノデアアラウカ、吾々ハ之ヲ疑フノデアリマス、サウ云フヤウナ極メテ無策ナル態度ヲ執テ居ル結果、現政府ノ農村振興策ハ全然地主階級ヲ擁護スルカ、或ハ金融資本家ノ利益ノミヲ圖テ、無産農民ヲ壓迫スルモノナリト、茲ニ斷言シテ憚ラスノデアリマス、更ニ又斯様ニ困テ居ル農民ニ對シテ、或ハ又都市労働者ニ對シテ、或ハ中小商工業者ニ對シテ、其負擔ヲ輕減ニ關スル具體策トシテ、減稅ノ方法、即チ生活必需品ノ消費稅撤廢其他間接稅撤廢ヲ實行スル爲ニ、具體案ヲ示サナイノデアアルカ、吾々ハ之ヲ聞カ

リ、労働者ガ困テ居ルノハ、戸數割ノ非常ニ高イコトデアアル、是ハ地方稅制デアリマスガ、稅制ヲ整理致シテ——無産階級ノ肩ノ荷ヲ輕クスル爲ノ稅制整理ヲ、何故具體的ニ今日ヤラナイノデアアルカ、吾々ハ之ヲ聞カナケレバナラナイ、即チ生活必需品ノ消費稅撤廢、及ビ農民ヲ最モ苦メテ居ル戸數割ノ撤廢ノ意思アリヤ否ヤヲ農林當局ニ質問致シタイノデアリマス

次ニ今日軍縮問題ノ中海軍問題ニ付キテハ色々議論ガ交サレテ居リマスガ、陸軍問題ニ對シマシテハ政府ノ具體的方針ガ現ハレテ居ナイノデアリマス、民政黨ガ組織致シマス時ニハ、或ハ十大政策ノ中ニ軍制改革デアルトカ、或ハ軍備縮小デアルトカ云フコトヲ現ハサレテ居リマシタガ、今日果シテ陸軍軍縮ニ對シテ如何ナル具體的ノ見解ヲ持テ居ルカト云フコトヲ、吾々ハ聞クコトガ出來ナイノデアアル、私ハ吾々無産者ノ立場カラ言フナラバ、即チ陸軍ハ宜シク之ヲ半減スベシト云フ意見ヲ持テ居リマス、サウシテ經常費一億八千萬圓ノ中、之ヲ半減致シマシテ九千萬圓ノ金ヲ或ハ社會事業ノ爲ニ、無産階級ノ生活保障ノ爲ニ出スベキガ當然デアルト考ヘマス、所謂陸軍軍縮ニ對スル政府ノ所見ヲ聞カナケレバナラヌト思フノデアリマス

最後ニ私ハ労働爭議ニ對スル所ノ政府即チ官憲ノ態度ニ付テ質問致シタイノデアリマス、先ヅ第一ニ私ハ川口問題ヲ舉ゲタイノデアアル、埼玉縣川口ニ於キマシテハ、アソコハ非常ニ小工場ノ澤山アル所デアリマスカ、今日ノ不景氣ノ爲ニ小工場ノ倒レモノガ大變多イノデアリマス、此小工場ノ倒レマス其中ニ、増金鑄物工場ト云フモノガアリマス、是ガ今日爭議ニナツテ居リマスガ、本年四月二十三日爭議ノ最中ニ、資本家ガ工場ニ置イテ居ル鑄物ノ木型ヲ持去ラテウツ致シタノデ、労働者ハ是ガ持去ラレテハ非常ニ労働爭議ガ惡化スルノミナラズ、

主場閉鎖ト云フヤウナ結果ニ立到リマスカラ、ドウシテモソレガ持去ラレルコトヲ止メナケレバナラナイノデ、資本家ニ其時抗爭シテ、所ガ其時参リマシタ巡查ガ資本家ヲ助ケテ持去ルコトヲ手傳フタ、或ハ之ニ反對シテ労働者ヲ蹴ル、毆ルト云フ態度ヲ執リ、労働者ハ憤激ノ餘リ資本家ニ對シマシテ、或ハ又自分ノ權利ヲ擁護スル爲ニ立チマシタ所、警官ハ遂ニ拔劍致シタル労働者ノ頭ヲ斬リタリマス、即チ川口警察署ノ田島巡查ハ、其労働者ノ長瀬鐵五郎、小沼太郎、此兩名ニ對シマシテ、拔劍ヲ致シマシテ負傷ヲ與ヘタノデアリマス、此官憲ノ執リマシタル態度ヲ吾々糾弾シナケレバナラナイ、労働争議ハ資本家ト労働者ノ對立カラ來ル當然ノ經濟闘争デアル、然ルモモ拘ラズ、官憲ハ何故ニ資本家階級ヲ擁護スル立場ヲ執ルノミナラズ、而モ尙ホ拔劍ヲ致シマシテ、此兩名ノ頭ヲ斬リタト云フヤウナ不當ナルコトハ、今日ノ社會ノ殆ド有リ得ナイ、隨テ極メテ重大ナル不祥事ノ現象デアルト云フコトヲ吾々ハ考ヘルノデアアル、斯様ナ態度ニ對シマシテ、吾々ハ此官憲ノ今日ノ態度ヲ疑ハナケレバナラナイノデアリマス、果シテ内相ハ之ニ對シテ如何ナル處置ヲ執ラレルカ、此問題ヲ如何ニ取扱フカ、其意見ヲ私ハ聞カナケレバナラナイノデアアル、今日被害者ハ告訴ノ手續ヲ執リマシテ、目下司法官憲ノ手ニ依ッテ調べラレテ居ルノデアリマスガ、併ナガラ斯様ニ労働争議ニ際シ資本家階級ノ味方ヲ致シマシテ、而モ尙ホ劔ヲ拔イテ労働者ヲ傷ケルト云フヤウナ、サウ云フヤウナ處置ハ今日ドウ云フヤウナ氣持ニ依ッテ、ドウ云フヤウナ意思ニ依ッテヤッテ居ルカ、其根據ヲ私ハ聞キタイノデアリマス、更ニ又市電ノ争議ニ對スル問題ヲ追究シナケレバナラナイ、御承知ノ通り今日ノ市電争議ハ解決致シテ居ルノデアリマスルガ、此労働争議ニ對シマシテ所謂青年團ト云フ

モノガ出動ヲ爲シ、サウシテ争議團ノ意見ニ拘ラズ自ラ電車ヲ運轉スル等ノ、所謂罷業破リト云フコトヲヤルノデアリマス、斯ウ云フコトヲヤリマスルナラバ、ソレハ労働争議ヲ非常ニ惡化セシムルモノデアアル、労働争議ヲ惡化セシムルノミナラズ、更ニ之ヲ永引カスモノデアアル、而モ尙ホ労働者ノ反感ヲ買フモノデアアル、所謂斯様ナ罷業破リト云フコトハ、最モ今日ノ社會ノ問題カラ又労働問題ノ立場カラ實ニ嫌惡スベキ、唾棄スベキ、卑怯ナル態度ナリトシテ排斥サレテ居ルノデアアル、斯ウ云フ問題ニ對シマシテ、或ハ官憲ガ其後押ヲスルコトカ、或ハ之ニ對シテ便宜ヲ與ヘルコトカ云フヤウナ態度ヲ執ッテ居ルノデアリナイカト云フ疑ガ極メテ濃厚デアアルノデアリマス、此問題ニ對シマシテ内務大臣ノ所見ヲ聞カネバナラナイノデアリマス

更ニ問題ヲ漁民ニ轉ジマスルガ、新シキ漁具ヲ資本家ガ色ニ利用スルコトニ依リマシテ、例ヘバ「トロール」船等ノ利用ニ依リマシテ、漁民ガ非常ニ迷惑ヲ蒙ッテ居ルノデアアル、今日ノ文明ノ所謂機械化ニ依ッテ漁民大衆ガ困テ居ル、困テ居リマスル漁民大衆ガ自分達ノ生活上ノ叫ビヲ舉ゲル爲ニ、之ヲ縣廳ニ抗議ヲ爲スベク上申セントスル、處方該運動ニ對シテ、常ニ官憲ハ無謀ナル取締、彈壓ヲ以テ之ニ臨ンダリ、或ハ干涉ヲ以テソレニ臨ンダリスル結果、續々ト此陳情運動ガ暴動化シ、或ハ騷擾化スル傾向ガアルノデアリマス、或ハ高知縣ニ於テ、或ハ富山縣ニ於テ、或ハ新潟縣ニ於テ、其他各地ニ於キマシテ此漁民ノ陳情ト云フモノガ、官憲ノ壓迫ニ依ッテ非常ニ阻止サレ、是ガ惡化シ、是ガ刑事問題化シテ居ルト云フ事實ヲ吾々ハ見ルノデアアル、斯様ニシテ生活上ノ叫ビヲ漁民大衆ガ舉ゲルト云フコトハ、是ハ經濟上ノ問題デアリマスカラ、自由行動ヲ許サナケレバナラナイ、之ニ對シテ官憲ハ非常ナル干涉ヲシ、不當ナル壓迫ヲ加ヘテ居ルト云フコトヲ吾

カ、恐ラクハ今日ノ失業者ハ更ニ其數ヲ今後ニ於テ、將來ニ於テ、尙ホ増ストモ減ラナイ、決シテ其數ハ減ルコトナクシテ殖エルト云フコトヲ吾々ハ信ズルノデアリマス、此意味ニ於テ以上ノ諸點ニ對シマシテ、政府當局ノ明快ナル所ノ答辯ヲ私ハ求メマシテ、茲ニ降壇ヲ致ス次第デアリマス

(政府委員齋藤隆夫君登壇)

●政府委員(齋藤隆夫君) 片山君ノ御質問ニ對シテ内務省ノ關スル限りハ、大臣自身ニ於テ答辯セラルベキ答デアリマスルガ、只今豫算委員會ニ出席シテ居ラレマスルニ依ッテ、本議場ニ出ラレナイコトヲ甚ダ遺憾ト存ジマス、私ガ代リテ御答スルト云フデアリマセヌガ、政府委員トシテ一應簡單ニ御答ヲ致シマス

第一ノ失業對策ニ付キマシテハ、過日ノ本會議場ニ於テ質問應答ガ重ネラレテ居リマシテ、之ニ對スル政府ノ對策ハ十分ニ説明セラレテ居リマスルニ依ッテ、是レ以上私ガ答辯ヲ致スベキ餘地ハナイノデアリマス

第二ノ埼玉縣ノ川口ノ争議ニ當リマシテ、警察官ガ拔劍シタト云フコトデアリマスルケレドモ、政府ノ取調ベタ所ニ依リマスルト、警察官ガ拔劍シタト云フ事實ハ毛頭ゴザリマセヌ

第三ノ東京市電ノ罷業ノ際ニ當リマシテ、青年團ガ出動シタコトハ宜シクナイト云フノデアリマスルケレドモ、交通機關ガ罷業ノ爲ニ停止シ、多數ノ民衆ガ不便ヲ蒙リマスル場合ニ當ッテ、青年團ガ自ラ進ンデ此缺陷ヲ補フト云フコトハ、私ハ寧ロ賞スベキ事デアリマシテ(拍手)決シテ排斥スベキ事デハナイト思ヒマス、片山君ノ御質問ハ、内務省ニ關スル限りハ此位ノ事デアルト思ヒマス、何カ其他農民ニ對シテ過度ノ壓迫ヲスルト云フヤウナ御言葉デアリマシタガ、サウ云フ事實モ全然ゴザリマセヌ(拍手)

(政府委員高田松平君登壇)

●政府委員(高田松平君) 大臣ガ豫算委員

會ニ出テ居リマスルカラ、私代ッテ御答致シマス、戸數割ノ件ヲ農林省ニ御問ヒユナリマシタケレドモ、是ハ少シ見當違ヒト思ヒマス、要スルニ質問者ハ、大體ニ於テ戸數割ハ農村ニ於テ徵收スルモノデアリマスカラ、農林省ト間違ッテデアリマセウ、是ハ所管ハ内務省デアリマス、併シ農林省トシテノ意見モ大シテ差ハナイト思ヒマス、私共ハ戸數割ハ其運用宜シキヲ得レバ、極メテ良稅ト信ジテ居ル、決シテ廢止スル意思ハアリマセウ、又戸數割ハ廢スルコトニ依ッテ生ズル町村ノ歲入ノ缺陷ヲ如何ニシテ補充スルカト云フ考ナクシテ、之ヲ廢止スルト云フコトハ全然出來マセウ

次ニ小作法ノ問題デアリマス、小作法ハ御承知ノ通り、此前ノ憲政會内閣ノ時ニ大體成案ヲ得テ居リマシテ、今回ノ民政黨内閣ニナッテ社會政策審議會ニ對シテ、大體憲政會内閣當時ニ出來タル其モノヲ、社會政策審議會ニ諮問致シマシテ、大體前ノ通りテ差支ナイト云フ意味ノ答申ガゴザイマシタカラ、來ル通常議會ニハ無論提案スル積リデゴザイマス、但シ此特別議會ニ出セト云フコトハ、是ハ餘リニ片山君實情ヲ知ラヌヤウニ思ヒマス、案ハ出來テ居リマスケレドモ、到底此短期間ニ於テ解決出來ルヤウナ簡單ナ問題デナイト思ヒマス、但シ案ノ内容ガ片山君ノ言フヤウナ意見ニ一致スルコトハ不可能ト思ヒマスケレドモ、兎ニ角出スダケハ出ス積リデアリマス

次ニ肥料ノ公營ト云フコトデアリマス、私共モ實ハ公營ト云フ言葉トハ違ヒマスガ、肥料ノ專賣ト云フコトヲ主張シタ時代モゴザイマシタガ、色々ノ關係ヨリ研究致シマシテ、中々困難ガ伴ヒマス、故ニ今回ノ豫算ニ昭和五年度ノ追加豫算ノ中、及ビ實行豫算ノ中ニ、産業組合ヲ中心トシテ、主トシテ全購聯及ビ府縣聯合會、單位産業組合ノ力ニ依ッテ、之ニ對シテ政府ガ相當ノ保護助成ヲシテ、農家ニ對シテ比較的安タ

優良ナル肥料ヲ供給スルノ案ヲ立チマシテ、之ヲ豫算ニ計上シテアルヤウナ次第デアリマス、公營ハ今日ノ所實行不可能ト存ジマス

次ニ農産物ノ價格ガ金ノ輸出解禁ニ依ッテ非常ニ下落シタ問題ニ付デアリマス、是ハ成程直接ニ金輸出解禁ノ影響ヲ受ケテ下ッタモノモゴザイマセウ、而シテ又金輸出解禁ノ影響ノ極メテ微弱ナルモノモアルト思ヒマス、故ニ片山君ノ言フガ如キ金額ニ、金輸出解禁ニ因リ農産物ノ價格ガ下ッテ居ルカドウカ、私共ニ明言スルコトハ出來マセウガ、併ナガラ農民ノ賣ル品物ガ幾分下ッタ同時ニ、農民ノ買フ各種ノ品物、肥料ニシテ、或ハ其他ノ織物ニシテ、總テノ物ガ下ッタト云フコトモ是レ當然デアレバ、今日ノ財界救済ノ場合ニ於テ、金輸出解禁ヲ斷行スル場合ニ於テ已ムヲ得ザルコトデアルト信ジマス、米ニ付テ申セバ、金輸出解禁ノ影響ハ極メテ微々タルモノデアリマス(「ノー」拍手)以上大體片山君ノ御問ニ答ヘタ積リデゴザイマス

(政府委員中野正剛君登壇)

●政府委員(中野正剛君) 只今ノ片山君ノ御質問中、逡信省ニ係ル點ニ付テ答辯申上ゲマス、先般ノ總選舉ニ際シテ逡信省カラ從業員ニ通告ヲ出シテ、選舉運動ニ携ルコトヲ禁ジタト云フ御非難デアリマシタガ、ソレハ今迄ヤッテ居ル從前ノ仕來リヲ其儘ヤッダケデアリマス、御承知ノ通り逡信從業員ハ其事務取扱ノ公正ヲ期セネバナラズ、又通信ノ秘密ヲ保持ナケレバナラズ、配達其他ノ時間ヲ確保シナケレバナラズ、斯ウ云フ特殊ノ仕事デアリマシテ、公務デアリマス以上ハ選舉運動ニ對シテ多少ノ制限ヲ加フルコトハ、事務ノ公正ヲ期スル上ニ已ムヲ得ヌ處置ト思フテ居ルデアリマス、併ナガラ何方カト申シマスレバ、斯様ナ制限ハ成ベク少イ方ガ宜イノデアリマシテ、公務ニ差支ナイ範圍ニ於テハ制限ヲ成ベク

加ヘナイヤウニスルノデアリマス、今迄ハ仕來リ上候補者ニ立ツコトナドモ許シテ居ナカッタデアリマスガ、今回ハ被選舉權ハ十分ニ行使シテ宜イコト、シテ居リマス、隨テ選舉權ノ行使モ十分ニヤッテ宜イコトニシテ居リマス、唯、逡信從業員ガ選舉運動ノ渦中ニ飛込シテ、大ニ奔走スルコトヲ禁ジタケデアリマス、ソレカラ逡友同志會ト云フ從業員ノ組合ガアリマス、只今御話ニナッテヤウデアリマスガ、是ハ勞働同盟ノ一部ニ屬シテ居ルト云フ話ヲ承テ居リマス、之ニ對シマシテハ私共ハ全ク不干渉主義ヲ執ッテ居ルデアリマス、單ニ不干渉主義バカリデナク、事務ノ取扱其他ニ付キマシテハ色々御相談モ受ケテ居ルデアリマシテ、幹部ノ方ミトハ昨年モ懇談致シマシテ、從業員ノ待遇改善等ニ付キマシテハ大分御説ヲ採用シ、緊縮ノ折柄デアリマスガ、昨年ハ從業員ノ待遇改善ニ百七十萬圓バカリノ費用ヲ、實行豫算ノ上ニ認メテ居ルヤウナ譯デアリマシテ、是等ノ點ニ付キマシテ逡信省ノ執ッテ居ル態度ハ公平デアアルノミナラズ、私ハ敬意ト友情ヲ以テ逡友同志會ノ人ミト接觸シ、御懇意ニ御話ヲ申上ゲテ居ルト云フコトヲ御認メニナルト思ヒマス、是ダケ御答申上ゲテ置キマス

●議長(藤澤幾之輔君) 片山君御質問ガゴザイマシタラ……

(片山哲君登壇)

●片山哲君 齋藤内務次官ノ答辯ニ對シマシテ更ニ再質問ヲ致シマス

川口問題ニ付キマシテ警官ガ拔劍シタコトハナイト云フコトヲ言ハレテ居ル、併ナガラ今日茲ニ被害者ノ診斷書ニ通テ取ッテ居ルノデアリマス、之ニ依リマスルト明ニ双物ニ依リ所ノ裂傷、刀ニ依リ所ノ傷ト云フコトガ明カニセラレテ居ルノデアリマス、斯ウ云フ議論ハ此處デ繰返サナイノデアリマスガ、併ナガラ他日司法官憲ニ依リマシテ、

警官ガ拔劍ヲシタト云フ事實ガ明瞭ニナタ時ニ、其責任者及其當事者、是等ニ對シマシテ内務當局ハ如何ナル處置ヲ執ルカ、如何ナル責任ヲ執ルカ、此問題ヲ更ニ内務當局ニ伺ヒタイノデアリマス

更ニ又農林次官ニ對シマシテ同ヒマスガ、今日吾々ガ強調致シテ居リマス農民特別銀行設置ノ件ニ付テ御答辯ガ無カッタノデアリマス、即チ今日ノ農工銀行、勸業銀行、其外信用組合、或ハ産業組合ト云フモノハ、總テ是ハ資本家階級ノ手先ニナッテ居ルノデアリマス、少シモ今日ノ小作農及ビ自作農、耕作階級ノ金融機關トハナッテ居ナイノデアリマス、彼等ハ之ニ依ッテ自分ノ懷ロヲ肥シテ居ルノデアアル、斯ウ云フ風ナ金融機關ニ依リマシテハ、到底今日ノ大勢ノ耕作農民ヲ救フコトハ出來ナイ、其意味ニ於テ自ラ進ンデ今日農村ニ特別銀行ヲ設置スルノガ最大ノ急務デアルト考ヘル、此點ニ付キマシテ、小作法制定ト相並ンデ、農村金融機關、即チ農民ノ負債ヲ救済スル機關ト致シマシテ、農民ノ特別銀行ガ最モ時宜ヲ得タモノデアリ、又必要缺クベカラザルモノデアルト云フコトヲ考ヘルノデアリマス、此點ヲ更ニ質問ヲ致ス次第デアリマス、御答辯ヲ願ヒマス

又第一ノ憲法ノ第十一條及第十二條ノ問題ニ付キマシテ、濱口首相ガ只今御出席ニナッテ居リマスカラ首相ノ明快ナル答辯ヲ求メル次第デアリマス

(政府委員齋藤隆夫君登壇)

●政府委員(齋藤隆夫君) 埼玉縣川口ノ爭議ニ當リマシテ、暴行ガ始リマシテ、警察官側ニ於テモ、勞働者側ニ於キマシテモ、數名ツ、ノ負傷者ヲ出シテ居リマス、警察官ガ拔劍ヲシタト云フコトデアリマスガ、最前申シマシタヤウニ、政府ノ取調ベタ所ニ依リマスルト云フト、拔劍ヲ致シタ事實ハ更ニアリマセウ、ノミナラズ其後ニハ負傷者ニ對シテ醫師ガ診斷ヲシテ居リマスル

ガ、其診斷書ニモ、拔劍ニ因ル負傷デハナ
イト云フコトヲバ明記シテ居リマス(拍手)
併シ片山君ノ仰セノ如ク、何カ拔劍ニ付テ
告訴ガ起リテ居リマシテ、告訴ノ結果拔劍ヲ
シタト云フ事實ガ確定シタナラバドウスル
カ、苟モ今日ノ時代ニ當リマシテ、警察官ガ
故ナク拔劍シテ人権ヲ蹂躪スルト云フガ如
キコトハ、看過スベカラザルコトデアリマ
スルニ依テ、若シサウ云フ事實ガアリマシ
タナラバ、政府ニ於キマシテハ適當ノ處置
ヲスルコトニ少シモ躊躇スルモノデハアリ
マセヌ、是ダケノコトヲ御答シテ置キマス

〔政府委員高田松平君登壇〕

●政府委員(高田松平君) 只今ノ金融ノ問
題デスガ、何カ農民ニ對スル特殊ノ銀行ヲ
造レト云フヤウナコトデスケレドモ、内容
ガ分リマセヌデ御答ノ仕樣ガナイト思ヒ
マス、但シ是ハ一般金融ニ關スルコトデゴ
ザイマスカラシテ、農林省バカリノ意見ト
シテ玆ニ確答ヲ申上ゲルコトハ私ニハ出來
マセヌ、而シテ内容ガ如何ニモ不十分デゴ
ザイマス、ドウ云フ意味ニ於テノ銀行デア
ルカ、意味ガ分リマセヌカラシテ、隨テ之
ニ對シテ御答ハ當然出來マセヌ

〔國務大臣濱口雄幸君登壇〕

●國務大臣(濱口雄幸君) 片山君ノ質問ノ
際ニハ、私ハ不在デアリマシテ直接ニ承ル
コトガ出來ナカッタデアリマス

第一ニハ軍縮ニ依テ生ズベキ剩餘金ノ
使途ハドウカ、使途ハ如何ト云フ御質問デ
アッタヤウニ聽キマシタ、若シ左様デアッ
トスルナラバ、軍縮ニ依ル剩餘金ハドウ云
フ程度ニ達スルカト云フコトハ今日ハ分リ
マセヌ、分リマセヌケレドモ相當ノ剩餘金ヲ
生ズル見込デアリマス、生ズル剩餘金ヲ
主トシテ、之ヲ國民負擔ノ輕減ニ充ツル方
針デアリマス(拍手)

第二ニハ、軍部大臣ニ對スル質問ニ對シテ
ハ何人ガ答辯スルカト云フ御趣意デアッ
タヤウデアリマス、若シ違ヒマシタレバ後
カラ御再問ヲ願ヒマス、海軍ニ關スル限り

ハ、私ガ事務管理ヲヤッテ居リマスカラ是
ハ議論ガアリマセヌガ、陸軍大臣ニ對スル
質問ニ對シテハ、誰ガ答辯スルカト云フ
御趣意デアッタデハナイカト想像ヲ致シマ
ス、違ヒマスレバ再質問ヲ待テ居リマス、
若シサウデアリマスレバ、國務大臣タル軍
部大臣ニ對スル質問ニ對シテハ、國務大臣
ガ答辯ヲシマス

第三ノ御質問ハ、倫敦海軍條約締結ノ憲
法上根據如何ト云フコトデアッタヤウデア
リマス、是ハノ申スマデモナク條約ノ締結
權ニ依テ、政府ガ責任ヲ以テ締結ヲ致シマ
シタ(拍手)

〔片山哲君登壇〕

●片山哲君 濱口首相ニ對シマシテハ私、
説明ヲ致シマシタ時ニ御列席ガナカッタモ
ノデアリマスカラシテ、第三ニ答辯サレマ
シタ問題ヲ更ニ要約シテ、モウ一度質問致
シマス、即チ私ノ尋ネタイト云フ其點ハ、今
日濱口首相ハ、最モ公明ナル政治ヲ布カン
ト云フコトヲ豫メ表明セラレタデアリマ
ス、即チ公明ナル政治ヲ布カント聞カント
首相ハ、此壇上ニ於テ最モ國民ノ聞カント
スル軍縮ニ對スル所ノ政府ノ執リタル處置
ハ、憲法上如何ナル根據ニ基イタト云フ點
ニ付テ、極メテ明快ナル態度ヲ以テ、明快ナ
ル答辯ヲ爲スベキガ當然デアルト云フコト
ヲ考ヘルノデアリマス、隨テ憲法第十一條
ニ依ルカ、第十二條ニ依ルカト云フコトヲ
明ニシナケレバナリマセヌ、是ガ即チ憲法
政治ニ對スル確信ヲ明カニスル所以デア
ルト共ニ、今日ノ軍閥ニ對スル新シキ政治
ヲ樹立スル所以デアルト云フコトヲ考ヘル
ノデアリ、殊ニ先程申シマシタヤウニ、政友
會ハ今マデ軍閥ニ對シテ反對ヲ表示シタ犬
養總裁ヲ首班トスル政黨タル其政友會ノ
質問ノ根據ガ甚ダ曖昧デアリマスガ、依然
トシテ軍閥調歌ノ態度ヲ執テ居ル、此間ニ
於テ濱口首相ハ、宜シク今日軍縮會議ニ執
リタル統帥權問題ノ根據ヲ、極メテ率直ニ、

極メテ勇敢ニ、極メテ明快ニ、此壇上ニ於
テ答辯スルコトガ、立憲政治家トシテ、又
政黨政治ヲ主張シ、政黨政治ノ首班タル首
相トシテ、最モ執リナケレバナラナイ態度
デハナイカト云フノデアアル、此意味ニ於テ
條約ニ關スル云々ト云フヤウナ、サウ云フ
言葉デハ満足スルコトガ出來ナイ、今日軍
閥ノ力ニ媚ビルコトナク、今日又新シキ政
黨政治ヲ樹立シ、憲法政治ニ對スル強キ確
信ヲ持テ居ルナラバ、此壇上ニ於テ最モ明
快ナ答辯ヲ爲スノガ至當デアアル、其態度如
何、其意見如何ト云フコトヲ首相ニ伺ヒタ
イノデアリマス

●議長(藤澤幾之輔君) 政府ノ答辯ハアリ
マセヌ——濱口國松君

〔濱口國松君登壇〕

●濱口國松君 濱口總理大臣ニ對シマ
シテ國務ノ故障ニ關スル質問ヲ致シタイト
存ジマス、此質問ハ政策問題デモナケレバ、
シテ國務ノ關係ノアル問題デモナイノデアリ
マシテ、國務ノ遂行ニ關スル根幹問題デア
リマス、又第二ニハ帝國議會内ニ於ケル質問
答辯ニ關スル重大ナル疑義ヲ決定スル質問
デアリマス、ドウカ總理大臣ニ於カレマシ
テモ、誠意ヲ以テ率直ニ御答辯アランコト
ヲ希望致シマス(拍手)

第一ニ御尋ヲ申上ゲマスルコトハ、宇垣
陸軍大臣ハ、今期議會開會ノ初ヨリ一日モ
御登壇ニハナッテ居リマセヌ、今日既ニ十
數日ヲ開會以來經過致シタノデゴザイマス
ルガ、既ニ會期半バ以上ヲ經過セントシマ
ス今日ニ於テモ、尙ホ御出席ガナイノデア
リマス、大凡此陸軍ノ國務ニ關係致シマシ
テ、陸軍大臣ニ對スル議會ノ質問ニ付キマ
シテハ、單ニ政府委員ニ於テ答辯ノ資格ノ
無イコトハ明デアリマス、且ツ又政府委員
ニ於テ答辯ノ資格無キノミナラズ、總理大
臣並ニ他ノ各省大臣ト雖モ、内閣官制第九
條ノ攝任並ニ事務管理ノ形式ノ手續ヲ經ル
ニ非ザレバ、答辯ノ資格ノ無イコトハ先例

ニ依リ確定致シテ居ル事實デアリマス(拍
手)然ルニ濱口首相ガ先例、斯ル法制上
ノ解釋ヲ御取リニナルナラバ、今日迄國務
ノ遂行上何故ニ陸軍大臣ノ缺席ニ付テ、官
制第九條ノ手續ヲ執ラレナイノデアリマス
カ、之ヲ執ラレナイノハ國務ノ遂行ニ差支
ナシト云フ御見解デアリマスカ、此點ヲ第
一ニ伺ヒタイノデアリマス

第二ニハ此内閣官制第九條ニ依ッテ陸軍
大臣闕缺ノ補充ヲ要スルコトハ當然デアリ
マスガ、此手續ヲ執ラレザルニ付テハ、議
會内ニ於ケル答辯、並ニ一般國務ノ遂行ニ
付テ故障ノ起ルコトハ當然デアリマス、現
先刻片山君ガ此憲法第十一條、第十二條ト、
海軍ニ對スル關係ニ付テ疑義ヲ總理大臣ニ尋
ネテ居ラレタ、此議會ハ種々問題モ重疊ハ致
シテ居リマスガ、倫敦軍縮會議ノ關係ニ於
テ、何ト申シテモ軍縮問題ヲ中心問題トス
ル所ノ重要ナル議會デアリマス、左様ナ性
質ヲ持ッテ居ル議會デアリマスカラ、海軍大
臣ノ缺席ニ付テハ、官制第九條ノ攝任並ニ
管理ヲ必要トスルコト云フ、國務遂行ノ必要
ニ從ッテ、總理大臣ハ現ニ海軍大臣ノ事務ヲ
管理ヲシテ居ラレタ、然ルニ陸軍大臣ガ議
會ノ開會ヨリ一日モ出席ガナイト云フコト
ニ付テ、何故ニ陸軍大臣ノ事務ノ管理ヲ置
カナイノカ、海軍ガ重クシテ陸軍ガ輕イト
云フ譯デモナカラウ、此理由ハ吾々ニハ不
可解デアアル、私ノ聞ク所ニ依レバ、海軍ニ
於テハ文官出身ノ他ノ大臣ノ管理ヲモ、内
閣官制ノ第九條ノ適用デハ差支ナイト云フ
解釋ヲ執ッテ居ラル、ガ故ニ、文官出身ノ濱
口首相ガ之ヲ管理セラレタ、併シ陸軍方面
ニハ、或ハ官制ノ根幹ニ示サレタル通り、
軍人デナケレバ國務大臣タル能ハズト云フ
主義ヲ延長サレ、隨テ官制第九條ニ依リ、
臨時的ノ事務管理大臣モ亦軍人ナラザルベ
カラズト云フ議論、若クハ故障ガアル爲ニ、
總理大臣ハ管理ヲ置カナイノデアアルマイ
カ、然ラズンバ海軍ニノミ置イテ、陸軍ニ

置カレナイト云フ理由ハ何處ニ在ル、陸軍海軍共、國防ノ兩翼デハナイカ、然ルニ一方ニハ必要アリトシテ管理ヲ置イテ、一方ニ置カレナイト云フノハドウ云フ譯デアアルカ、恐ラク海軍方面ト陸軍方面トノ官制第九條ノ解釋ニ付テ、内閣ニ於テ統一ヲ取ルコトヲ得ザルガ故ニ、スルコトニナルノデアラウト思フ、是ハ一面カラ見レバ、陸海軍ノ議論ヲ統一シテ、官制第九條ノ規定ニ從テ、順當ニ管理大臣ヲ置クコトヲ得ザル結果ニ立至ルノデアリマスガ、此管理大臣ヲモ置カザル結果トシテ、議會内ノ質問應答ト云フモノハ、非常ニ不鮮明ナコトニナツテ居ル、非常ニ滯滞ヲ致シテ居ル、是ヨリ生ズル所ノ結果ト致シマシテ、本院ニ於テ將ニ豫算審議ノ本會ガ一兩日中ニ開カレントスルノデアリマス、又明日邊リハ豫算ノ總會ト云フノモ行ハレルノデアラウ、然ルニ吾々議員側カラ言ヘバ、此軍部大臣ニ對スル多數ノ質問ガ堆積致シテ居ル、然ルニ總理大臣ガ單ニ包括的ノ答辯ヲセラル、ノミデハ、豫算審議其他ニ於テ、吾々ハ十分ニ議事ヲ進行スルコト能ハザル機會ニ遇スルカモ分リマセヌ、斯ル場合ニ於テ總理大臣ハ其責任ヲ負擔セラル、ノデアアルカドウデアアルカ、之ヲ伺フテ置キタイ

其次ハ審議ガ進捗致シマセケレバ、隨テ短期ノ議會デアリマスルカラ、會期延長ト云フ問題モ時ニ起ラザルヲ保シ難イノデアリマス、ソレハ何ノ爲ニ左様ナ故障ガ起タルカト申シマスレバ、今ノ軍縮ヲ中心トシタル軍部大臣ニ對スル質問應答ガ、抄々シタ其局ヲ結バナイト云フ所カラ主トシテ起ルノデアリマスルガ、此責任ヲ總理ハ御執リニナルコトガ出來ルカドウカ

尙ホモウ一ツ終リニ御尋申上ゲタイト申シマスルノハ、總理大臣ハ豫算委員會其他ニ於テ、宇垣陸軍大臣ノ健康ハ殆ド回復ヲシテ居ルノデアアルガ、未ダ登院ノ期ニ達シナイ、併シ事務ハ病床ニ於テ執ルコトノ出

來ル程度ニ達シテ居ルノデアアルカラ、書面ヲ以テ質問ヲスレバ、書面ヲ以テ答ヘルダケノ準備ニハナツテ居ルト云フコトヲ豫算委員會若クハ山崎達之輔君ノ質問ニ對シテ答辯ヲサレテ居ルヤウデアリマス、併ナガラ是ハ帝國議會ノ議員ノ質問權ト云フモノヲ確保スル上ニ於テ、私ハ此點ヲ明カニシテ置キタイ、元來議會内ニ於テノ質問應答ト云フモノハ、申スマデモナク議院法並ニ衆議院規則ノ規定スル所ニ依テ明カデアツテ、口頭デ尋ネテ口頭デ答辯スルト云フノガ原則ニナツテ居ルノデアアル、唯、書面デ尋ネタモノニ對シテ書面答ヘルト云フ慣例ニナツテ居ル、然ルニ吾々ガ口頭ヲ以テ尋ネタコトヲ、一片ノ書面ヲ以テ答辯スルト云フコトハ、所謂議員ノ發問權ト云フモノヲ侮辱シタル所ノ輕視シタル所ノモノデアラウト思フノデアリマス(拍手)吾々ハ既往ノ前例ニ依テモ、又將來吾々ノ發問權ヲ確保スル上ニ於キマシテモ、議員ガ演說デ尋ネタナラバ、矢張大臣モ亦口頭ヲ以テ答ヘルト云フコトハ、是ハ議院ノ慣例デアリ法規ト上デ明カニナツテ居ル、然ルニ總理大臣ハ、宇垣陸軍大臣ガ出ナクテモ宜イデハナイカ、書面デ答辯シタル宜イデハナイカト言ハレルガ如キハ、所謂官僚思想ニ出發シタル所ノ不穩當ナル御答辯デアルト信ジテ居ル、果シテ斯ク論ジ來リマスナラバ、宇垣陸軍大臣ノ缺勤ニ付テ總理ガ茲ニ内閣官制第九條ノ形式ヲ履マレザルコトハ、甚ダ不穩當ト思フノデアリマスルガ、今日ニモ其手續ヲ遂行セラル、自信ガアルヤ否ヤ、若シ自信ガナケレバ明日ニモ宇垣陸軍大臣ガ出席セラズ、事情ニナツテ居ルカドウカ、出席モ出來ズ、官制ノ規定ニ從テ管理手續ヲモ爲サズ、法制ヲ無視シテ漫然トシテ此議會ヲ切抜ケラレントセラレル卑怯ナル態度ニ出ラレントスルノデアアルカドウカ、之ヲ御尋申上ゲマス

〔國務大臣濱口雄幸君登壇〕

●國務大臣(濱口雄幸君) 濱田君ニ御答致シマス、内閣ノ官制第九條ニハ如何ニモ御說ノ如キ規定ガアリマス、國務大臣ガ故障アルトキハ他ノ大臣ガ臨時兼攝或ハ事務管理ヲ命ゼラル、ト云フ規定ガアリマス、然ルニ宇垣陸軍大臣ノ今日ノ狀態ハ、官制第九條ノ所謂故障ト認ムベキ程度デナイト考ヘマス(拍手)私ハ濱田君ノ御質問ヲ總括シテ御答致シマスルガ、國務大臣ガ議會ニ出マスル以上ハ、各省大臣トシテバハアリマセヌ、各省大臣トシテ自分ノ持ッテ居ル所ノ職務ノ權限外ニ涉ッテ、廣ク一般ノ國務ニ關シ發言ヲシ、答辯ヲスル權利ガアリマス(拍手)

若シ諸君ガ國務大臣タル陸軍大臣ニ向ッテ御質問ガアリマスルナラバ、此處ニ御述ベニナルガ宜シイ、他ノ國務大臣ガ之ニ答辯ヲ致シマス、代ッテ答辯ハ致シマセヌ、代理デハアリマセヌ、國務大臣トシテ當然答辯ヲ致シマス、國務大臣ハ皆ソレト、摘ッテ居リマス、政府委員モ多數居リマス、即チ政府ハ議會ニ臨ム所ノ陣容ハ十分ニ整ヘテ臨ンデ居ル、ソレニ對シテ議員諸君ガ陸軍大臣ガ居ナイカラ質問ヲサレスト云フノハ、ソレハアタ方ノ自由デアアル、吾々ハ其質問ニ對シ答辯ヲ爲スダケノ用意ヲシテ居リマス、即チ私共ノ方ニ於テハ責任ハアリマセヌ、又何カ特殊ノ事項ノ爲ニ、是非トモ陸軍大臣ノ直接ノ答辯ヲ要スルトサレルナラバ、是ハ便宜書面ヲ以テ答辯ヲ求メラレテモ宜シイノデアリマス、其書面ノ答辯ハイカスト云フナラバ、現ニ昨日ノ豫算委員會ニ於テ政友會ノ山崎君カラ官制第九條ノ解釋ニ關シ、陸軍大臣ニ書面ヲ發シテ答辯ヲ求メラレタ、ソレニ對シテ本日書面ヲ以テ答辯ガアツタノデアリマス、ソレハ即チ議員諸君ガ國務大臣ト質問應答ヲ爲スニ當ッテ、書面ヲ以テスルト云フコトヲ自ら承認ニナツタ證據デアリマス(拍手)既ニ承認ニナツタ以上ハ何故ニ其便法ヲ講ゼラレヌカ、又特殊ニアラザル所ノ一般ノ國務ニ付テハ、私

初メ他ノ國務大臣ガ陸軍大臣ノ代理デナク、代ッテナク、當然國務大臣トシテ答辯ヲ致シマス、隨テ何等ノ責任ハアリマセヌ、アタ方ガ御質問ヲ爲サラスノハ御自由デアリマス(拍手)

〔濱田國松君登壇〕

●濱田國松君 我先刻質問ノ劈頭ニ於キマシテ、是ハ黨略問題デモ政策問題デモナイノデアリマシテ、議院政治ノ根幹ニ觸レタル重要ナル問題デアリマスカラ、五ニ誠意ヲ披瀝シテ、此制度解釋ノ確立ヲ致シタイト云フコトヲ、特ニ希望致シテ置イタルデアリマス、然ルニ只今濱口首相ノ御答辯ニ依ルト、陸軍大臣ノ病氣ハ、内閣官制第九條ノ所謂故障ト云フモノニ相當スルカドウカ、首相ノ解釋ニ依レバ、宇垣陸軍大臣ノ病氣ノ爲ノ議院登院不能ハ、故障デハナイト云ハレル、是ハ實ニ非常識極マル法文ノ解釋デアルト思フ、何人ガ法令ヲ常識的ニ解釋シテモ、國務大臣故障アル時ハト云フ、之ニ病氣職務ヲ遂行シ得ザル場合ヲ包含シナイト云フヤウナ、左様ナ法令ノ解釋ト云フモノハ、市井ノ無賴漢ト雖モ爲サマル所ノ解釋デアアル、苟モ一國ノ政治ノ首班トシテ、總デニ付テ範ヲ下サルベキ所ノ總理大臣ガ、病氣ハ故障デナイト云フヤウナ、市井ノ無賴漢モ爲スヲ憚ル所ノ答辯ヲ爲スト云フコトハ、實ニ驚キ入ッタ次第デアリマス、又第二ニ申上ゲマスガ、國務大臣ハ相互ニ連帶責任ヲ以テ立ツモノデアアルカラ、陸軍ニ對スル質問ト雖モ他ノ大臣ガ答辯シテ差支ガナイト云フコトヲ言ハレル、是ハ間違ッテ居ル、政治ノ責任ハ連帶責任デアアル、政治ノ責任ハ連帶責任デアアルガ、私ノ論ジタル尋ネント欲スル所ハ、議員ヨリ特ニ陸軍大臣ト指定ヲシテ質問ヲシタル時ニハ、陸軍大臣ガ當然答ヘナケレバナラナイト云フコトヲ言フテ居ル(拍手)何モ政治ノ責任ヲ尋ネテ居ルノデアハナイ、陸軍大臣ニ質問シタ時ニハ、陸軍大臣ガ答辯スルノガ院ノ先

例デアル(拍手)濱口君ガ政治ノ責任ト、院
内ニ於ケル質問ニ對スル答辯ノ權限トヲ混
同セラレテ居ルモノデアルト私ハ思フノ
デアル(拍手)大凡ソ自己ノ良心ニ背イテ、
苦シキ説明ヲスル時ニハ顧ミテ他ヲ言フト
云フ古語ガアル(拍手)濃厚濱口首相ニシテ、
尙且ツ此良心ニ背イタ、病氣ハ故障デナ
イト云フヤウナ答辯ヲ爲サル運命ニ在ルコ
トヲ、現内閣ノ爲ニ悲シム次第デアル(拍
手)病氣ハ有ユル場合ニ於テ故障デナ
云フコトヲ尙ホ御申シニナルカ、モウ一度
御尋申シテ置キタイ

〔國務大臣濱口雄幸君登壇〕

●國務大臣(濱口雄幸君) 宇垣陸軍大臣ノ
今日ノ病狀ハ、内閣ノ官制第九條ニ依
臨時兼攝、又ハ事務管理ヲ置クベキ程度ノ
モノデナイト申シタノデアリマス(拍手)ソ
レカラ國務大臣ハ議會ニ缺席ヲ致シマシ
テ、而モ臨時兼攝ヲ置カズ、又臨時事務管
理ヲ設ケナカッタ先例ハアリマス、決シテ
今回ニ限リタコトデハアリマセヌ(拍手)私
ノ記憶スル所ニ依レバニツダケノ先例ヲ持
テ居リマス、一ツハ大正四年第三十七議
會ニ於キマシテ、十二月ノ一日ニ開院式ガ
行ハレ、翌年二月二十九日ニ開院式ガ行
レテ居リマスルガ、時ノ陸軍大臣岡中將ハ
一月ノ末マデ登院致シマシタケレドモ、病
氣ノ爲ニ二月ハ全部缺席ヲシテ居リマス
(拍手)此場合ニ於テモ時ノ内閣ハ陸軍大臣
ノ代理、又ハ事務管理ヲ置イテアリマセヌ、
其儘缺席ニナツテ居リマス、第二回ノ例
ハ……

〔國務大臣ノ質疑ノ時ニハ出テ居ルデ
ハナイカ(其他發言スル者多シ)〕

●議長(藤澤幾之輔君) 靜肅ニ……

●國務大臣(濱口雄幸君)(續) 大正十一年
二月下旬マデ司法大臣大木達吉伯ガ缺席ヲ
サレテ登院ガナカッタノデアリマスルガ、是
亦臨時代理ヲ置イテアリマセヌ、隨テ大臣
ガ缺席ヲシテ而モ臨時兼攝ヲ置カズ、又臨

時事務管理ヲ置カスト云フコトガ、議會政
治ノ如何ニモ侮辱デアルカノ如ク論セラレ
ルノハ、是ハ先例ヲ知ラザル議論デアリマ
ス、先例ニ依レバサウ云フコトハアリマス、
隨テ陸軍ノ國務ニ關スル御質問ガアリマス
レバ、ドウカ御遠慮ナク御質問願ヒタイ、
他ノ國務大臣ガ之ニ答辯ヲ致シマス(拍手)
●議長(藤澤幾之輔君) 加藤知正君——加
藤知正君

〔加藤知正君登壇〕

●加藤知正君 私人絲價安定融資補償法ト
絲價低落ノ關係ニ付キマシテ總理大臣、大
藏大臣、農林大臣ニ質問ヲ致シタイト考
テ居リマスルケレドモ、總理大臣ハ御出席
ニナリマシタガ、農林大臣、大藏大臣ノ御
出席ガナイヤウデゴザイマス、殊ニ時間ニ
制限ガゴザイマシテ、十分自分ノ述ベント
欲スル意見ヲ述ブル餘裕ガゴザイマセヌカ
ラ、極メテ簡單ニ二三ノ質問ヲ致シテ見タ
イト考ヘル次第デアリマス

此融資補償法ガ昨年ノ春開カレマシタ第
五十六議會ニ提案セラレマシタ其際ニ、民
政黨ノ諸君ハ黨議ヲ以テ之ニ反對セラレ
タノデアリマス、其際ニ村上國吉君ハ民政
黨ヲ代表致シマシテ、此壇上ニ於テ反對意
見ヲ述ベラレタノデアリマス、其演說速記
録ノ全部ヲ茲ニ朗讀シタイケレドモ、是亦
時間ノ關係上……

〔加藤君政府委員ノ出ルマデヤルナ〕
〔待テ居ルコト呼フ者アリ〕

●議長(藤澤幾之輔君) 政府委員ガ出席セ
ラレマシタ

●加藤知正君(續) 私人唯、其要旨ヲ茲ニ
申上ゲマス、其反對意見ノ要旨ハ何デアル
カト申シマスレバ、此融資補償法ノ如キハ
極メテ不完全、不徹底ナル所ノ法律案デア
ル、暫定的ナ、一時的ナ、間ニ合セテナ、
斯様ナ不完全不徹底ナ法律案ニハ吾々ハ反
對セナケレバナライ、又平時ニ於テ斯ノ
如キ法律ヲ制定シテ置タト云フコトハ、徒

ニ當業者ヲシテ依頼心ヲ起サシメ、不謹慎
放漫ナル經營ヲ爲サシムル基ニナルノデア
ルカシテ、反對ヲセナケレバナライ、
又斯ノ如キ法律ハ縱令之ヲ制定致シテ置キ
マシテモ、恐ラク五箇年ノ期限內ニ於テ之
ヲ運用スルコトハアルマイ、斯ル無用不急
ノ法律案ニハ吾々ハ反對セナケレバナラス
ト云フコトヲ、村上君ハ此壇上ニ於テ申述
ベラレタノデアリマス、然ルニ此三月八日ニ
於テ此法律ヲ運用セラル、ニ方リマシテ、
町田農林大臣ハ一ツノ聲明書ヲ發表セラレ
テ居リマス、續イテ民政黨カラモ亦聲明書
ガ發表セラレテ居リマス、之ヲ私ハ搔擗シ
デ要旨ヲ朗讀致シマス、市場ノ形勢ヲ放任
セシカ、内ニハ銀行ガ生絲資金ノ融通ヲ停
止スル恐レアリ、外ニハ銀塊相場ノ暴落等、
米國市場ニ於ケル一派ノ賣崩シト相俟チ、
絲價ノ大暴落ヲ招キ、斯業ノ基礎ヲ破壊ス
ルニ至ルハ火ヲ購ルヨリモ明カナル實勢ト
ナレリ、我輩ハ茲ニ政府當局ニ對シテ之ガ
善處ノ勸告ヲ爲シ、政府モ亦常ニ之ニ對シ
テ備フル所アリ、遂ニ絲價安定融資補償法
ノ發動ヲ見ルニ至レリ、是ニ於テ我ガ國際
貿易ノ中樞タル絲價ヲ安定セシメ、延イテ
ハ繭價ノ不當ナル低落ヲ防ギ、以テ農村蠶
業ノ安全ヲ期スルハ誠ニ當ヲ得タル處置ナ
リト信ズ、斯様ニ申サレタノデアリマス、
村上君ハ民政黨ヲ代表致シテ、先刻申上ゲタ
ヤウナ反對演說ヲシテ居ラレリ、此反對演
說ガ本當デアルトスレバ、今ノ民政黨ノ此
聲明書ナルモノハ一片ノ反古ニ均シイモノ
ト謂ハナケレバオラス、又民政黨ノ此聲明書
ガ本當デアラナラバ、村上君ノ反對演說ナ
ルモノハ好イ加減ヲ出鱈目ヲ言フテ、反對ス
ベカラザルモノヲ反對シタト謂ハナケレバ
ナラスノデアリマス、一體ドウチラガ本當ナ
ノデアリマセウカ、之ヲ私ハ現内閣ノ總理
大臣ニシテ民政黨ノ總裁デアアル所ノ濱口氏
ニ御尋ネシタイノデアリマス(居ナイ)ト
呼フ者アリ)

次ニ此度ノ絲價ガ暴落ヲ致スコトニ付キ
マシテ、井上大藏大臣ハ何ト言ハレマシタ
カ、此間武藤氏ノ質問ニ對シマシテ、斯様
ナコトヲ申シテ居ラレマス、即チソレカラ
私ハ討論デハアリマセヌケレドモ、私ノ考
ノ違フ所ヲ武藤サンニ申シテ置キマスガ、
日本ノ生絲ガ今日下ツタ、是ハ全ク金解禁ノ
結果バカリダト、斯ウ仰セラレリ、私ノ説
明ヲ一ツ聽イテ御覽ナサイ——先刻ノ武藤
サンノ數字ト違ヒマスガ、私ノ採テ居ル數
字デハ、金解禁ヲ吾々ガ發表シタ七月ニハ、
生絲ハ一俵千三百二十圓デアリマシタ、ソ
レガ爲替相場ガ七月カラズット上テ行クニ
拘ラズ、九月ノ末ニハ千三百四十圓マデ上
リマシタ、何故是ガ今日ノ如ク千五百五十圓
トカ云フ風ニ下ツタカト云ヘバ、即チ十月ノ
末カラ亞米利加ノ不景氣ガ來タカラデアリ
マス「ト斯様ニ申シテ居ラレマシテ、更ニ此
爲替相場ガ絲價ニハ何等ノ關係モナイヤウ
ナコトヲ申シテ居ラレリ、デアリマス、所ガ
本日豫算會議ノ席上ニ於テ、東氏ノ質問ニ
對シ、井上藏相ハ何ト答ヘラレタカト云フ
コトヲ聞イテ居リマス、爲替相場ガ一割
一分上レバ、絲價ハ一割一分下ル、其他ノ
低落ノ原因ハ是ハ亞米利加ノ不景氣ノ關係
デアル、即チ亞米利加ノ不景氣ガ六、七分、
爲替相場ガ三、四分絲價ニ關係シテ居ルト
云フヤウナ答辯ヲ致シテ居ラル、ノデアリ
マス、此武藤氏ニ答ヘラレタノガ本當デア
ルカ、ソレトモ東氏ニ答ヘラレタノガ本當
デアルカ、一體井上藏相ノ言ハレリコトハ
何レヲ信ジテ宜シイカ、好イ加減ヲ出鱈目
ヲ申サレリモノデアルト云フコトヲ思ハザ
ルヲ得スノデアリマス(拍手)
尙ホ此爲替相場ト絲價ノ關係ニ付キマシ
テハ、色々此處ニ私ハ調査ノ材料ヲ持ッテ
居リマスルケレドモ、時間ガアリマセヌカ
ラ省略ヲ致シテ置キマスルガ、唯、私ハ今日
現内閣ガ絲價ノ暴落致シタノハ、是ハ亞米
利加ノ不景氣ノ關係デアルト、ソレノミ

點張りニ申シテ居ラレマスカラ、此不景氣ノ爲ニ亞米利加ノ生絲ノ消費ハ決シテ減退ハ致シテ居リマセヌ(加藤君助ケルト思フテ省略シロヨト呼フ者アリ)省略スル(寛クリ)「大切ナ問題ダヨト呼フ者アリ」ト云フコトダケヲ私ハ茲ニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス、紐育ノ消費高、即チ大正四年ノ一月ノ消費高ガ五万七千三百四十九俵、五年ノ一月ガ五万七千六百八十三俵、三年三十二俵増シテ居リマス、四年ノ二月ニハ四万六千二百二十八俵、五年ノ同月ガ四万九千八百五十二俵、即チ三千六百二十四俵ヲ増シテ居ルノデアリマス、四年ノ三月ハ四万九千八百七十八俵、即チ本年ノ同月ニハ五万八千六百六十三俵、九百八十五俵増シテ居ルノデアリマス(拍手)若シ不景氣ノ爲ニ生絲ガ實レナイト云フコトデアラナラバ、此消費高ガ斯ノ如ク増ス答ハアリマセヌ(拍手)詰リ本年一月カラ三月迄ノ間ニ亞米利加ノ消費高ヲ合算スルト、四千九百四十一俵増シテ居ルノデアリマス、斯ノ如ク亞米利加ニ於キマシテハ消費高ガ段々増加スルトモ、衰ヘテハ居ナイノデアアル、然ルニ現内閣ノ諸公ハ亞米利加ガ不景氣デアラカラ生絲ガ實レナイ、實レナイカラシテ生絲ノ値段ガ下ルノデアッテ、我國ノ生絲價ノ騰落ハ、金解禁ノ關係デナイヤウナコトヲ言ッテ胡麻化サントシテ居リマスガ、實ニ言語道斷、沙汰ノ限リト謂ハナケレバナラスト私ハ考ヘルノデアリマス(拍手)

向ホ私ハ此處ニ一言申上ゲタイ、ソレハ何デアアルカト申シマスレバ、我國ノ生絲價騰落ノ原因ハ主トシテ金解禁ニ胚胎シテ居ルノデアルト云フコトヲ、私ハ此處ニ斷言ヲ致スノデアリマスルガ、向ホ今一ツ申上ゲテ置カネバナラストハ、現内閣ガ此生絲價安定融資補償法運用ノ時機ヲ誤リ、方法ヲ誤ッタル云フコトガ、即チ此生絲價ノ騰落ヲ來シ、横濱ヤ神戸ニ、十六万餘俵ト云フ恐ルベキ滞荷ヲ來シタコトニモ相成ルノデアリマス、何故ニ時機ヲ誤ッタルデアアルカト申シマスナラバ、諸君モ御承知デアリマセウガ、昨年ノ十一月カラシテ十二月ニ掛ケマシテ、生絲ガドン／＼下ッテ來タ、是ニ於テカ製絲家ハ悲鳴ヲ擧ゲテ、以テ政府當局ニ此補償法ノ運用ヲ迫ッタルデアリマス、ケレドモ當局大臣ハ頑トシテ之ニ應ジナカッタノデアアル、所ガ越エテ一月ノ十七日ニハ愈々其慘狀見ルニ忍ビズト爲シ、帝國養蠶組合ノ理事會ヲ開キマシテ、特ニ此事ヲ決議致シテ、濱口總理大臣、町田農林大臣ニ對シテ速ニ此融資補償法ヲ運用セラレンコトヲ迫ッタルデアリマス、又翌十八日ニハ全國蠶絲業大會ガ開カレ同決議ヲ致シマシテ、此補償法ノ適用ヲ迫ッタルデアリマス、然ルニ是亦頑トシテ當局大臣ハ之ニ應ジナカッタノデアリマス、然ルニ其後五十日モ経マシテ、三月初旬ニ至リ漸ク之ヲ運用スルト云フヤウナコトニ致シタルデアリマスルガ、此處ガ即チ此運用ノ時機ヲ誤ッタル云フコトニナルノデアリマス、何故カト申シマスレバ、昨年ノ十二月ト本年ノ一月ト此兩度ニ互テ全國ノ蠶絲業者ガ本法ノ運用ヲ迫ッタルレドモ、政府ハ之ニ應ジナイノデ内外輸出商ノ或者ハ現内閣ハ從來ノ行掛リ上、到底之ヲ運用スル譯ニハ行クマイ、又左様ナ考ハ持ッテ居ラナイデアアラウト見テ取リ、盛ニ先約束ノ安賣ヲ致シタルデアリマス、即チ或ル外商ハ——此處デハ私ハ特ニ名前ヲ申シマセヌガ、即チ或ル外商ハ盛ニ安賣ヲヤッタノデアリマス、ソレニ又我方内地ニ於ケル某モ盛ニ先約束デ安賣リヤッタノデアリマス、所ガ三月ニ至ッテ突如トシテ此法律ヲ運用致シタルデアリマス、是ニ於テカ或ル外商ハ斯様ナ事ヲ申シタル云フコトデアリマス、即チ日本政府ノ補償法ガ失敗ニ終リカ、自分等ガ失敗ニ終リカ、何處迄モ勝敗ヲ争フヨリ外ナイト言ッテ、今向ホ先約束ノ安賣ヲシテ居ルト云フコトデアリマス、

斯ノ如クセラルレバ我國ノ生絲價ハ勢ヒ下落セザルヲ得ヌデアリマス、彼等ガ先約束安賣ヲセザル内ニ本法ヲ運用スレバ、彼等モ恐ラク斯クノ如キ態度ニ出ナカッタノデアラウト思フノデアリマス、又其方法ヲ誤ッタル云フコトハ補償價格デアリマス、何故ニ千二百五十圓ト云フ時價ニ遙ニ隔テ居ル、高イ所ノ價格ヲ以テ補償價格ト致シタルデアリマセウカ、斯ウ云フヤウナコトヲ致シマスル結果、即チ高イ所ノ補償價格ヲ置ク結果ガ、遂ニ生絲ノ輸出ノ圓滑ヲ缺クコトニ相成ルノデアリマス、其上ニ六月十日ト云フコトニ本法運用ノ期間ヲ限定シ而モ之ヲ古絲ニノミ適用スルト云フコトニ致シタルカラ旁、製絲家ハ急イデ線絲ヲ送出スルコトニナリ今日横濱ヤ神戸ニ滞荷ヲ見ルヤウニナッタノデアリマス、斯様ナ事實ハ考ヘマスト生絲價ガ今日未會有ノ慘狀ニ陥タルハ是ハ誰ノ罪デモナイ、現内閣ノ重大ナル責任デアルト云フコトヲ思ハナケレバナラスノデアリマス(拍手)

向ホ私ハ寛クリ色々質問ヲ致シタイコトガアリマスケレドモ、最早時間モゴザイマセヌカラ、私ガ質問ヲ致シタイト思ヒマスル要旨ヲ認メテ置キマシタルヲ朗讀シマシテ、然ルベキ機會ニ於テ、當局大臣ノ御答辯ヲ戴キタイト思フノデアリマス

- 應急策ニ對スル質問
- 一 絲價安定融資補償法ノ制定當時極力反對シタル現内閣殊ニ就任當時傳家ノ寶刀デアアル補償法ハメッタニ拔ク可キモノニ非ズト豪語シタル町田農林大臣ハ如何ナル理由ヲ以テ之レヲ適用發動シタルカ
 - 二 絲價補償法ヲ發動スレバ世界經濟界ノ大勢ニ逆行シテモ我が生絲相場ハ鈞上ガ維持セラレルモノト信ジタリヤ
 - 三 金解禁ニ伴ヒアラユル物價引下げニ努力シツ、アル現内閣ニ於テ時價百斤千百圓ノモノヲ千二百五十圓ニ鈞上ゲテ維持セントシタルハ矛盾セル政策ニアラザルカ
 - 四 世界經濟界ノ大勢ニ逆行シテ日本生絲ヲ鈞上ゲル事ハ支那蠶絲業ノ發展竝ニ人造絹絲ノ進出ヲ助長スルノ結果トナリハセヌカ
 - 五 絲價補償法ノ根本精神ハ蠶絲業ノ危機ニ及ンデ全般ノ救助ニ向テ發動スベキモノナルニ拘ラズ、昭和四年度產生絲ノノミ之レヲ適用シタル結果蠶絲業者ニハ何等ノ恩恵ヲ被ラザルノミナラズ、剩ヘ六月十日限リトシタル結果、其ノ反動的絲價ノ騰落ニヨッテ蠶價ノ慘落ヲ見ルハ明カナルベシ、此ノ點ニツイテ政府ハ考慮セルヤ
 - 六 絲價ガ現狀ノ如ク騰落スルニ至テハ補償資金三千萬圓ハ全部國庫ニ回收シ得ル見込アリヤ
 - 七 四月末日ニ於ケル横濱並ニ神戸ニ於ケル生絲滞荷ハ今ヤ十六万五千捆ニ達シ、有史以來デアルト言ハレル、之レガ絲價ヲ壓迫シ、今年ノ新繭相場ヲ極度ニ壓迫スルヤニ思ハレル、此ノ場合現政府ハ養蠶業者ニ如何ナル對策ヲモツテゾマントスルカ
- 恒久策ニ對スル質問
- 一 政府ハ今回ノ絲價鈞上ガ維持ノ不成績不評判ニ省ミテ其ノ根本タル繭價ノ安定維持ニ向テ將來研究ヲス、メル氣ハナイカ
 - 二 國家重要ナル蠶絲業ガ年々歲々斯様ニ救済援助ヲ仰ガネバナラヌハ甚ダ遺憾デアアル、政府ハ其ノ根本缺陷ヲ突キトメテ此際本當ノ恒久的蠶絲業策ヲ講ズル考ヘハナイカ
 - 三 吾人ノ信ズル處ニヨレバ蠶絲業ノ基礎ヲ確立スルニハ二百萬ノ繭生産者タル養蠶家ニ主力ヲ注グ事デアアル、繭ヲ安賣ニシカモ良品ヲ作ラセル事ヨリ外ニナイ、其方法トシテ極力共同働作

タル養蠶組合ノ活動ニ俟タネバナラヌ、之レガ爲メニ速ニ養蠶組合ヲ制定スル意思ナキヤ

四 政府ハ昨年來養蠶共同桑園ノ助成、養蠶共同飼育室ノ獎勵等ニ著手シタダ、之レヲ適切有效ニ行ハシムルニハ任意ノ組合デハ駄目デアル、此意味カラモ養蠶組合ハ必要ト思フガ如何カ

五 政府ハ蠶絲業ノ統制並國策樹立ノ機關トシテ養蠶、製絲、蠶種、貿易其他斯業ニ精通セル學者實業家ヲ打テ一丸トスル蠶絲業聯盟會又ハ蠶絲業大調査機關ヲ設クル意思ナキヤ

之ヲ私ハ御問ヲ致シタイト思ヒマスカラ、政府當局ニ於キマシテハ、然ルベキ機會ニ於テ、答辯アラントヲ御願致ス次第デアリマス

〔國務大臣井上準之助君登壇〕

●國務大臣(井上準之助君) 私ガ本議場デ武藤君ノ質問ニ對シテ答ヘマシタノト、本日豫算總會デ申シマシタノト矛盾シテ居リハセスカト云フ御質問デアリマシタサウデゴザイマスカラ、一應私ガ申シマシタコトヲ繰返シテ申シテ見マスガ、生絲ノ値段ノ經過ヲ申シマス、昨年ノ六月ニ百斤千三百五十圓ト云フノガ、大體ノ相場デアリマス、ソレガ七月ニナリマシテ、金解禁ノ聲明ヲ致シマシテ、爲替相場ガ少シ上リマスト、ソレガ千三百二十圓カラ三十圓ニ下リマシタノデス、然ルニ爲替相場ハズト上リマスノニ拘ラズ、九月ニハソレガ千三百五十圓ニマデ又上リマシタ、然ルニ十月ニナテ亞米利加ノ景氣ガ轉換致シマス、ソレカラズト生絲ガ下リマシテ、今日ノヤウナ狀態ニナッタデアリマス、ソレデ武藤君ニ答ヘタノハ亞米利加ノ經濟界ノ不況ガ日本ノ生絲ニドレダケ影響シテ居ル、金ノ解禁ガドレダケ影響シテ居ルカ、サウ云フコトヲ私ハ答ヘタ次第デアリマス、本日御答致

シマシタノハ、生絲ガ亞米利加ノ不況ノ爲ニ下ッテ、三月ニハ千二百二十圓迄下ッテ來タ、サウシテ見ルト假ニ金ノ解禁ヲシタ爲ニ爲替相場ガ一割一分騰タトシテモ、物價ハ一割一分下ッテ居リマスカラソレデ宜シイガ、今ノ千三百二十圓トスルト一割七分位ニ當リマス、サウスルト六分乃至七分位ハ亞米利加ノ不況ノ爲メ、即チ生絲ガ吾々カラ見ル所ニ依ルト、外國ノ市場ノ爲ニ不當ニ下ッテ居ル、此大勢デ行ッタナラバ日本ノ蠶絲界ガ非常ナ打撃ヲ蒙ルカラ、補償法ヲ適用スルコトニ私ハ賛成シマシタ、斯ウ御答シタ次第デゴザイマス、ドウゾ御承知ヲ願ヒマス(拍手)

●議長(藤澤幾之輔君) 加藤君

●加藤知正君 只今ノ井上藏相ノ御答辯ハ屢、此處ニ申サレタコトデアリマシテ、私ハ能ク承知致シテ居リマス、ケレドモアレダケノ説明デハ吾々ヲ満足セシムルニ足りナイ、是ハ皆サンモ能ク御承知ダラウト思フ、之ニ付キマシテハ、私ハ適當ナ機會ニ於テ十分自分ノ意見ヲ述ベテ見タイト思ヒマスガ、本日ハ既ニ時間モナイコトデアリマスカラ、此程度ニ於テ質問ハ止メテ置キマス

●議長(藤澤幾之輔君) 土倉宗明君

(土倉宗明君登壇)

●土倉宗明君 私ハ綱記肅正問題ニ付キマシテ御問致シタイト思フデアリマス、ソレハ富山縣ノ庄川、此川筋ニ於キマスル所ノ發電事業ニ對シマシテ、現内閣ハ此川筋ニ於テ庄川水力電氣株式會社及昭和電力株式會社ニ對シマシテ、去月二十五日、此發電ノ認可ヲ與ヘタノデゴザイマス、此發電ノ認可ニ當リマシテハ、去ル大正十五年以來、此發電計畫當初カラ此關係町村ノ人ハ山林業者、及漁業者或ハ是等ノ從事シテ居リマスル多數ノ勞働者、是等ノ者ガ縣廳ニ對シ、或ハ内務省ニ對シテ其許可ノ不當ナルコトヲ陳情ヲ重ネ、延イテハ行政訴訟マデモ目下起サレテ係争中デアアルノデゴ

ザイマス、ソレガ俄然去月二十五日重大ナル缺陷ガアリ、又幾多不合理ナル所ノ問題ガアルニ拘ラズ、且ツ當初ニ許可ノ條件ニナッテ居ル、ソレ等ノ條件ガ完全ニ具備シテ居ラザルニ拘ラズ、俄然認可ヲ與ヘタト云フ、此裏面ニハ何等カ醜聞ノ所ノ事實ガアルカト云フコトヲ私ハ伺ヒタイノデアリマス

ソコデ先ツ最初ニ伺ヒタイノハ、此認可ニ當リテ條件トナッテ、其條件ガ今尙ホ公然ト世上ニ示サレテ居ラナイ、極秘ニ附サレテ居ル、此條件ヲ示シテ戴キタイト思フノデアリマス、長年ニ互ル所ノ係争問題デアルカラ、争フ方ガ無理デアアル、地方沿岸ノ人々ハ不合理ノ點ガアルナラバ、其不合理ナ點ヲ指摘シテ深切ニ示サレ、同時ニ當然許可ヲスルノガ當リ前ダト云フ根據ヲハキリ御示シナリマスルナラバ、懸ギモナケレバ、騷動モナイ、當然是ガ許可ヲ與ヘテヤッテモ差支ガナイノデアアルノニ拘ラズ、今日只今ニ至リマスルマデ、何ガ故ニ許可ヲシナカッタカ、又許シテヤッテモ是ダケノ設備ナラバ差支ナイデハナイカト云フ、其設備ヲ極秘ニ付サレテ居ルノデアリマスルカ(拍手) 昭和ノ聖代實ニ驚クベキ所ノ一大不正ガ此間ニ伏在シテ居ルト私ハ思フノデアリマス(拍手) 元來庄川水力電氣株式會社ナルモノハ、先般安達現在ノ内務大臣、嘗テハ逕信大臣デアリマシタ時ニ、此電氣株式會社ノ池尾某ナル者ト結託シテ四十萬圓ノ即チ不當ナル利益ヲ得タト云フコトハ世間ニ知ラレテ居ルノデアアル(拍手) 此日本電力株式會社ノ姉妹會社デアリ、内容ハ同一會社デアル所ノ此電力株式會社ノ不合理ナル條件一切ガ整ハザルニ拘ラズ、自己ガ管テハ指令ヲ發シタ其指令ニ背反スルヤウナ、今日直ニ許可ヲシタト云フコトニハ、何等カノ根據ガアッテシタノデアルト云フコトヲ明瞭ニ示サナカッタナラバ、此國民ノ疑惑ヲ晴ラス譯ニハ斷ジテ行クマイト私ハ思フ(拍手) 更ニ又私ハ御伺シナケレバナラナイ

ノハ、今證據ヲ舉ゲマスガ、四月二十五日許可ニナッタト云フ、其極秘ニ附セラレテ居ル、世上ニ公表セラレテ居ラナイ其條件ノ一部ヲ、庄川水力電氣株式會社ハ既ニ昨年から著手致シテ、此四月二十五日目前ニ既ニ茲ニ出來上ッテ居ルデハナイカ、諸君、此認可ヲ與ヘルカ與ヘナイカニ依ッテ、即チ此條件ガ成立スルカシナイカ、許可ノ根本ガ成立スルカシナイカト云フ問題ニ對シテ、既ニ事前ニ工事ガ出來上ッテ居ルト云フニ至テハ、認可ヲ爲サズシテ即チ電力會社ハ勝手ニ工事ヲ致シテ居ラナイデハナイカ(拍手) 假ニ臭イ所ガナイト仰シヤルナラバ、臭イ所ガナイト仰シヤルナラバ、何デ此許可ナクシテ工事ヲシタカ、其責任ハ一體誰ガ負フノデアリマス(拍手) 此四月二十五日ニ許可ガ與ヘラレタ、過去四代ノ内閣ニ互ル係争中デアッテ決シ兼ネテ今日マデ持續セラレテ居ラタモノ、此四月二十五日許可ヲ與ヘラレタノデアアル、此二點ニ對シテ、其一ツノ點ハ許可ヲ與ヘタ其條件ヲ茲ニ明白ニ聞カシテ戴キタイコト、又許可ナクシテ電力會社ガ勝手ニ無認可工事ヲナシテ居タト云フ此事實ニ對シテ、如何ナル處置ヲ執ラレテ居ラタカト云フコト、此二點ヲ先ツ最初ニ私ハ承デ置キタイト思フノデアリマス

更ニ奇怪千萬ナコトハ、此問題ハ多年爭ハレテ居ル有名ナル問題ト相成ッテ居ルノデアリマスカラ、吾々ハ此問題ニ對シ批判演說會ナルモノヲ開催致シマスルト、富山縣當局ハ此問題ノ批判演說會ニ對シテ非常ナル多數ノ暴漢ヲ會場ニ入レシメ、其暴漢ハ何者デアアルカト申シマスルト、所謂電氣會社ノ人夫、土工、是等ノ者ヲ二時間モ三時間モ前ニ會場ニ入レシメテ、サウシテ酒ヲ飲マシメテ、サウシテ演說會ガ開會サレルヤ、開會ノ辭スラモ述べナイニ當リテ、茲ニ官憲ハ「トラック」五臺モ用意爲シ、サウシテ警戒萬端整ヘテ居ル形式ハシテ居テモ、

此取締ハ警テシナイバカリデハナイ、アベコベニ此電氣會社側ノ人々ト警察官ガ通謀ヲシテ、此演說會ヲ散ナクシテ解散ヲ命ジタノデゴザイマス(拍手)是ハ去ル四月ノ五日ニ富山縣ノ青島ニ於テ行ハレタ演說會ノ光景デアリマス、越エテ四月ノ六日、富山市ニ於テ爲サレタル同一ノ演說會ノ如キハ、滿場聽衆ガ滿チテ居ル、然ルニ一人ノ暴漢ガ現レテ、演壇ヲ引續返シテ、ソレデ聽衆全體ガ何等動搖モセズ、騒ギモ致シマセヌノニ、之ヲ機會ニシテ、又々演說會ヲ解散ヲシタト云フ此事實、此事實ハ單リ私ガ政友會デアラナド、諸君ガ色眼鏡ヲ以テ見テハ相成ラナイ、民政黨ノ選出代議士デアリマス山田毅一君モ此現狀ヲ目視シ、又出席辯士トシテ承諾サレテ居タルデゴザイマスルカラ、此實情ニハ可ナリ山田君モ憤慨シテ、私ト共ニ警察部長ヲ彈劾ニ行カレタト云フコトハ、是レ爭フベカラザル事實デアル、諸君、斯ノ如ク富山縣ガ此庄川發電問題ニ對シマシテ非常ナル肩ヲ持チ、偏頗ナル處置ヲシテ居ルト云フコトハ、爭フコトノ出來ナイ事實デアル、ト同時ニ我ガ内務當局、逕信當局及農林當局ノ如キハ、此庄川ノ上流ニハ、七万町歩ノ國有林ガアル、四万町歩ノ民有林ガアル、十數万町歩ニ互ル、即チ此國家ノ富源此富源ガ埋没セラレテハ、材木ヲ伐出シテ流送スルコトガ出來ナイ、即チ國家ノ富源ヲ、此電力事業ノ爲ニ埋没セラレルトナルコトシテ、歴代ノ農林當局ハ、此内務省ノ川倉式設備ト云フモノニ對シテ、堂々反對ヲシ來タニ拘ラズ、單リ現内閣ノ農林當局ガ、此内務省ノ愚拙ナル所ノ案ニ對シテ無條件デ同意ヲ表シタト云フ裏面ノ真相ヲ私ハ伺ヒタイノデアアル、諸君、即チ此一點ハ少クトモ私ハ色眼鏡ヲ以テ見ルノデハナイ、故ラニ此現内閣ノ綱紀肅正ノ看板ニ傷ヲ付ケントスルモノデハナイ、此有力ナル所ノ事實、此證據ヲ諸君ガ御覽ニナッタナラバ如何ニ此問題ニ付テ

醜惡ナル半面ガ伴ウテ居ルカト云フコトハ立證サレテ居ルノデアアル(拍手)即チ日本電力株式會社ヨリ百萬圓ノ金ガ選舉當時ニバ撒カレタト云フ事實ガアルノデアアル、更ニ選舉後ニ於テ、最近猛烈ニ此許可運動ヲ企テラレタ時ニ於テモ、少ナカラヌ所ノ黃白ガ撒布セラレテ居タルト云フ所ノ事實ハ、彼ノ電氣會社ノ内部ノ帳簿ニ於テ説明ノ出來ナイ所ノ假支出金ガ出サレテ居タルト云フコトガ何ヨリノ證據デアアル、諸君(ハッキリ言ヘト呼フ者アリ)ハッキリ言テ居ルデナイカ(ソナナ出鱈目ガアルカ)ト呼フ者アリ)諸君、ソコデ此問題ガ綱紀肅正ノ看板ノ手前ニ取ツテ申譯ノナイ一大醜事實デアルト云フコトノ證據ハ明カデアアル(明カデナイ)ト呼フ者アリ)明カデアアル、何ヨリノ證據ハ二十五日認可ヲ與ヘラレタ、認可ヲ與ヘラレタラ、當然電氣會社ハ此工事ニ著手ヲ爲シ、サウシテ完成シテ、五千萬圓モ掛ケタ此大ナル發電事業、此發電事業ニ對シテ速ニ電力ヲ起ス手順ヲ進メテ行カナケレバナラヌノニ、俄然大阪地方裁判所ノ民事部ニ於テ、直ニ是ガ假執行ヲセラレタノデアリマス、行政裁判所ノ問題ハ今ヤ審理中デアリマシテ、其顛末ハ處斷ニ及ンデ居リマセヌケレドモ、一方民事ノ裁判所ト雖モ、斯ノ如キ五千萬圓モ掛ケタ大事業ニ對シテ、僅カ三十萬圓ノ保證金ヲ以テ、是ガ假執行ガ出來ルト云フコトハ、會テ見ザル所ノ現内閣ガ不當ナル所ノ處置ヲ爲シ、不正ナル所ノ動機ニ依テ許可ヲ與ヘタルモノナリト云フコトヲ立證シテ餘リアルモノト私ハ思フノデアリマス、更ニ農林當局ニ至テハ、今迄農林大臣、否農林省ヲ舉ゲテ、此内務省案ニ反對ヲ唱ヘテ居タル所、此現内閣ノ農林當局ニ至テ、俄然内務省ニ同意ヲ表シタ、同意ヲ表シタバカリデナイ、事務次官、其他技術者、關係ノ人々ノ調印ヲ得ズシテ、同意ヲ得ルコトガ出來ナイデ、去ル四月十九日內務大臣ト農林大臣ト逕信

大臣ノ三者ガ寄テ、各省ノ事務關係ノ官邊ハ一切抜キニシテ、此問題ヲ決裁シタルデアリマスガ、大臣ノ命令サヘアリサヘスレバソレデ宜イノカ、總理大臣サヘアレバソレデ宜イノカ、大臣ダケデ決裁ガ何事モ出來ルト云フ方法ヲ、此問題ニ於テモ執ツタト云フコトヲ私ハ申シテ居ルノデアリマス、諸君、ソレデハ事務次官ガ居テモ何ノ役ニモ立タヌデナイカ、事務次官、官邊ガ一切之ニ調印シテ居ラナイト云フコトガ果シテ事實デアラカナイカト云フコトヲ伺ヒタインデアリマス、諸君、更ニ醜惡ナル所ノ反面ノ事實ト致シマシテハ、會テハ此問題ノ爲ニ反對ノ立場ヲ取ツテ居タル所ノ有力者及町村ニ向テ買収ノ手ヲ延ベテ、ソレト全ク反對ノ、即チ電氣會社擁護味方ノ態度ヲ執ラシムルト云フ、此事實コソハ見逃シテハナラヌ所ノ問題デアルト私ハ思ヒマス、之ニ對シテモ少カラヌ所ノ金ガ撒カレテ居ルト云フ事實デアリマス、更ニ富山縣利賀村ト云フ所ハ、本件行政訴訟ニ從參加ヲ致シテ居ル村デアアル、所ガ其村長ヲ縣當局ガ呼寄セテ、村長ニ行政訴訟ニ從參加ヲ取下ゲロ、取下ゲルコトガ出來ナケレバオ前ノ軀ノ臭イ所ヲ洗フ縛リ上ゲルト云フ恐喝マデシ、行政訴訟ノ取下ハ罷リ成ラヌト斷ルト、遂ニ現ニ收監セラレテ居ルデハナイカ(拍手)如何ナル問題デ今日收監サレテ居ルノカ知リマセヌガ、恐ラクハ此庄川水力問題ニ對シマシテ、行政裁判ニ從參加ヲシテ居ルコトヲ取消サナイ、脱退ヲシナイト云フ、一ツノ報復的手段ヲ用ヒテ、之ヲ害メテ居ルモノナリト私ハ斷定ヲシタイノデアリマス、果シテ是ガ何ノ罪ニ依リ、何ノ犯罪ノ嫌疑ニ依テ利賀村々長ナル者ガ取調ヲ受ケテ居ルカト云フコトモ御伺ヒシナケレバナラヌト思フノデゴザイマス

會社ト如何ハシキ關係アッタト云フ手續ヲ以テ(拍手)今回二十五日認可ヲ與ヘラレタル所ノ問題モ、矢張りソレト同一ノ手順、手續、緣邊ヲ以テ、茲ニ取交ハサレタルガ爲ニ、斯ノ如キ不當認可ガ起ツタモノデアルト私ハ思フノデアリマス

以上申述ベマシタ點ニ付テ、農林及内務、逕信ノ當局ニ私ハ御答ヲ承リタイト思フノデゴザイマス

●議長(藤澤幾之輔君) 只今ノ土倉君ノ質問演說ノ中ニ不穩當ナル一節ガアルト認メマスガ(フー)是ハ速記録ヲ能ク取調ベタ上ニ處置ヲ執リマス(拍手)

●政府委員(齋藤隆夫君) 土倉君ヨリ所謂庄川問題ニ對スル御質問ガアリマシタカラシテ、書類ニ基イテ大要御答致シマス

〔アナタニ分リマスカ〕「謹聽々々」其他發言スル者多シ

●議長(藤澤幾之輔君) 靜肅ニ願ヒマス

●政府委員(齋藤隆夫君) 少シ長クナルカハ知リマセヌガ、暫クノ間御聽取ヲ願ヒマス

富山縣ノ庄川筋ニ於キマシテ、大正十一年七月五日富山縣知事ガ許可致シマシタ庄川水力電氣株式會社ノ出願デアリマスル小牧地點發電水利使用ノ工事ハ、大正十五年四月十日ニ工事ニ著手致シマシテ、木材輸送ニ關スル設備ヲ除イテ、昭和四年三月ニ大體工事が完成ヲ告ゲタルデアリマス、又其川筋ノ上流ノ祖山地點ニ於ケル大同電力株式會社ノ出願ニ係リマスルモノハ、昭和二年五月十一日ニ工事ニ著手致シマシテ、是亦木材輸送設備ヲ除イテ、昭和四年九月ニ大體工事が完成シタルデアリマス、曩ニ認可ヲ留保致シマシタル所ノ木材ノ輸送設備ニ關シマシテハ、昭和三年六月十三日富山縣知事ヨリ認可ノ案ヲ具シテ内務大臣ニ稟伺ヲシテ來タルデアアル、然ルニ利害關係ヲ有シテ居リマスル所ノ沿岸ノ木材業者、

漁民致ニ用水關係者等ヨリ、本工事完成ノ曉ニハ、ソレハ支障ヲ來スノ虞ガアリトシテ、反對運動ヲ起スコトニ相成ツタ、此川筋ニ於キマシテ從來流木ヲ行テ居リマシタ所ノ利害關係者ノ一ツデアリマス飛州木材會社ハ、流水ヲ不可能ナラシムルモノトシテ極力之ニ向テ反對ヲシテ來テ居ルデアリマス、ソコデ大正十五年五月二十八日ニ下流ノ小牧地點ニ付テ、又昭和二年五月二日ニハ上流ノ粗山地點ニ於テ、ソレゾレ行政訴訟ヲ提起シテ、本件ノ水利使用ノ工事ハ自己ガ從來同川筋ニ於テ持テ居ル所ノ流水權ヲ侵害スルモノデアルト云フ理由ヲ以テ、富山縣知事ノ本件工事施行認可ハ之ヲ取消サレタシト主張シテ、目下行政裁判所ニ訴訟ヲ繫屬シテ居ルデアリマス、右ノ如ク富山縣知事ノ稟伺ニ係ル木材輸送ノ設備ハ、利害關係ガ重大ナルモノデアリマスカラ、内務省ニ於キマシテハ慎重調査ヲ爲シマシテ、同年七月二十五日ヨリ同月二十八日ニ互テ、内務省、逓信省、農林省及富山、岐阜ノ兩縣並ニ大阪營林局ノ關係官ガ會合致シマシテ調査熟議ヲ重ネマシタ結果、富山縣知事ノ案ヲ基礎トシテ略成案ヲ得タノデアリマスガ、此堰堤ノ締切ト云フモノハ、上述ノ如ク利害關係廣汎ニシテ且ツ重大ナルモノガデアリマスカラ、内務省ニ於キマシテハ更ニ篤ト調査研究ヲ遂ゲマシテ、關係各省トモ折衝ヲ重ネテ、此程漸ク具體的成案ヲ得、且ツ一方從來極力反對陳情ヲ重ネマシタ所ノ富山、岐阜此兩縣ノ利害關係者モ、前記ノ飛州木材會社ヲ除キマシテハ、却テ認可促進ノ陳情ヲ爲スニ至リマシタカラシテ、地方ノ人心モ安定スルニ至リタノデアリマス、仍テ去ル四月十九日富山縣知事ニ對シテ認可ノ指令ヲ發シタノデアリマス、右ノ認可ニ係ル木材輸送ノ設備ハ、富山堰堤排水ノ及フ地點デアリマス見座ト云フ地點ニ、重剛ナル流材誘導堰ヲ設ケテ、之ニ依テ上流ヨリ流下シ來

ル所ノ木材ヲ堰止メ、沈材ト浮材トニ區分致シマシテ、沈材ハ船ニ載セ浮材ハ筏ニ組ミテ流下シ、堰堤ノ乗越ハ「コンベヤ」ヲ以テ之ヲ行ヒマシテ、其輸送能力、十一日間ニ三萬石ヲ、見座ヨリ青島貯木場ニ至ル迄運搬設備デアリマスケレドモ、天候其他ノ關係ニ支障セラル、コトガアリマスカラ、相當安全率ヲ見込ムノ要アリ、仍テ本川筋ノ流水ハ、從來毎年十月十五日ヨリ翌年二月末迄百三十七日間之ヲ許シテ居ルデアリマスガ故ニ、此流材期間ニハ、從來本川筋ニ於キマシテ流送サレタル十萬石内外ノ木材ハ、優ニ之ヲ運搬シ得ルノミナラズ、今日豫想セラル、將來ノ増加石數ニ對シテモ、其輸送能力アルモノト認メルノデアリマス、是ガ内務省ニ於キマシテ此工事ヲ認可スルニ至リタ大要デアアルノデアリマス

尙ホ附加ヘテ申上ゲマスガ、演說會ニ對シテ臨監ノ警察官ガ、不當ニ解散ヲバシタ、何カ此裏面ニ於テ會社ト警察官トノ間ニ於テ不正行為ガアルラシキ御話デゴザイマシタガ、演說會ヲ解散スルニ付テハ、演說會ヲ解散スベキ適法ナ理由ガアルノデアリマス、演說會場ニ如何ナル醉漢ガ闖入シテ居リマシタカ、サウ云フ事ハ警察官ノ關スル所デハナイ、多數ノ聽衆ガ喧噪ヲ極メマシテ、之ヲ解散スルト云フ事ガ治安ヲ維持スルニ付テ最モ適當ナリト認メマシタニ依ッテ、解散ヲ命ジタニ過ギナイノデアリマス、決シテ警察官ニ於テ權力ヲ濫用シタヤウナ形跡ハ更ニゴザイマセヌ

更ニ何カ此事件ニ付テ政府當局者ニ於テ不正ノ行為ガアルラシキ御辯論デアリマシタガ、若シ假ニモ左様ナ事ガアリマシタナラバ、國民ノ權利ニ依ッテ堂々ト告訴告發ヲシテ、司法權ヲ發動ヲ求メルノガ宜シイノデアアル、何等司法上ノ手續ヲ執ル所ノ勇氣モナク、唯徒ニ妄想ヲ述ベテ公人ノ名譽ヲ害スルガ如キハ、紳士ノ爲スベキ事デナイト思フ(拍手)

●議長(藤澤幾之輔君) 中野政府委員

●政府委員(中野正剛君) 只今ノ齋藤政府委員ノ答辯デ、事ノ經過ダケハ十分ニ御分リニナッタラウト思ヒマス、唯私只今質問演說ヲ拜聽シテ居ル時ニ、寫眞ヲ出シテ、コナナ物ガモウ出來上リテ居ル、四月ノ二十一日ニ許可サレタノニ之ニ先ダチテコナナ物ガ出來テ居ルト仰シヤッタ時ニ、是ハ妙ナコトダト驚イタノデアリマス、ソコデ私能ク調べサセマシタ所ガ、彼ノ寫眞ハ此度許可シタ流水設備ノ寫眞デハナクシテ、庄川筋ニ於ケル堰堤ノ寫眞ダサウデアリマス(拍手)其堰堤ヲ造ル所ノ許可デアリマスカラ、之ヲ許可致シマシタノハ現内閣デハナイノデアリマス、大正十一年ト大正十四年ニソレハ認可セラレテ居ル、ソレカラ此堰堤ガ出來上リテシマッテ、愈々此水路ヲ閉塞シテ發電スルコトニナルノデアリマスカラ、其前ニ流水設備ヲ決定シナケレバナラヌト云フノガ、是ガ議論ニナッテ居ルノデアリマス、其流水設備ニ對シマシテハ、農林省ト内務省トノ間ニ意見ノ相違ガアルト云フ御話ヲ承ゲタノデアリマスガ、ソレハ政府内部ノコトデ申上ゲル必要モナイカト思ヒマスガ、關係各省ニ於テ協議ヲ凝スニ際シ、或ハ農林省ニ於キマシテハ、農林事務官ニ言ハスレバ農業本位ニ物ヲ考ヘ、内務省カラ申セバ内務省本位ニ考ヘル、逓信省ニ於キマシテハ成ベク此東洋第一ノ大堰堤ノ設備ガ働キ始メルコトヲ希望スルカラシテハ促進シタイト、逓信事務官達ハ考ヘル、是等ノ話合フ打合セテ決定スルノガ、是ガ政府ノ處分デアリマス(拍手)此處分ヲ下ス前ニハ、實ニ昭和三年ノ、現内閣成立以前ニ、政友會内閣ノ下ニ於ケル縣知事カラ認可ノ方案ヲ具シテ稟伺シテ來テ居ルノデアリマス、ソレニ對シテ慎重ニ審議シ、關係者ノ利害ヲ聽キ、今日ニ於キマシテハ

此堰堤ヲ締切ルコトニ對シテ反對ノ態度ヲ取ッテ居ルモノハ、飛州木材會社ヨリ外ニハナクナッテ居ルノデアリマス、其他ノ富山、岐阜方面ノ關係者及縣民デハ、寧ろ事業ノ促進ヲ陳情シテ來テ居ル狀態ニナッテ居ルデアリマス(拍手)只今色々ノ推察ニ依リテ、或ハ之ヲ社會問題トナシ、政治問題トセラル、御話ヲ承リマシタガ、サウ云フ噂ナラバ、電力會社ガ「モツ」ヲ煽動シテ居ルト云フ噂ノ半面ニハ、乾新兵衛ガ飛州木材會社ニ向ッテ多大ノ金ヲ流用シテ、是デ以テ政府ヤ當業者ヲネダッテ、而シテ飛州木材會社ノ私利ヲ營マンスト云フ噂モアルノデアリマス、左様ナ噂ヲ一々此處デ論ジ立テスルコトハ、私滑稽ニ思フ、先般大阪地方裁判所ニ於テ、堰堤ノ締切ニ對シテ假處分ヲシタノハ明白ニ承認シテ居リマスカラ、第三者乾新兵衛カラ三十萬圓ヲ提供シテ、此訴訟ヲ提起シテ居ルコトモ明白ニナッテ居リマス(拍手)裁判所ノ訴訟ニ關スル問題ハ、法ノ正當ナル手續ニ依リテ決定致シマスガ、當局者ノ關知スル限り、吾々ノ爲シタル處分ニ付テハ、一點不公正ノ點ナキコトヲ此處ニ明言スルノデアアル、(拍手)

●議長(藤澤幾之輔君) 靜肅ニ願ヒマス

●政府委員(高田松平君) 只今ノ御質問ニ御答シマス、土倉君ノ御質問ノ要旨ニ依レバ、農林當局ガ前内閣時代ニ於テ不同意デアリシモノヲ、現内閣ガ同意シタノハ如何ナル理由デアアルカト云フヤウニ承リマス、ソレハ前内閣時代ニ於キマシテハ、其結論ニハ達シマセヌガ、大體ニ纏ッテ居リタヤウニ思ヒマス、而シテ今同農林省ガ同意スルニ付テ、魚道ノ問題、或ハ魚類ノ増殖ノ問題、木材ノ流送ノ問題ニ付キマシテモ深ク注意シ、調査ヲ遂ゲ、必ズ完全ニ其目的ヲ達シ得ルト信ジタガ故ニ同意シタノデアリ

マス、更ニ前内閣時代ニ於テハ、下流幾万町歩ノ水田ニ要スル灌漑水ニ付キマシテハ、遺憾ナガラ何等意ヲ用ヒテ居ラナカッタ、所ガ現内閣ニ至リマシテ、材木ノ流送問題ヨリモ、魚類ノ遡上問題ヨリモ、最モ必要ナル問題ハ、數万町歩ニ渉ル灌漑ニ付テ、極メテ完全ニ調査シテ、漏水ノ時ニ於テモ何等是ガ田用水ニ故障ヲ生ゼシメザルコトヲ必要ト感ジマシテ、其事ニ付テ府縣知事ヲ通ジテ、電氣事業者ト完全ナル協調ヲ遂ゲ、安全ニ灌漑用水ヲ保全スルノ方法ヲ講ジタノデゴザイマス、是ダケガ前内閣ト違フ點デゴザイマス、前内閣ノ許可セヌト云フ意見ト、現内閣ノ許可シタルコトガ違フト云フノデアル……

〔發言スル者多シ〕

●議長(藤澤幾之輔君) 靜肅ニ願ヒマス

●政府委員(高田松平君)(續) 更ニ御參考ニ申上ゲテ置クコトハ、事務上ニ付テノ問題デアリマス、何カ土倉君ハ、農林省ノ事務官ノ者ガ同意シナイデヤナイカトノ疑ヲ以テ御質問ニナリマシタガ、全然偽リデアリマス、吾々ガ政府官トシテ同意ヲ與フルニ付テハ、能ク事務官ノ意見ヲ採テ、慎重審議之ヲスルコトハ常道デアリマス、吾々ハ決シテ斯様ナル問題ニ付テ事務官ヲ無視スル程ノ必要ヲ感ジマセヌ、即チ全然虛構ノ御質問デゴザイマス(拍手) 更ニ前内閣時代ニ許可セザルモノヲ許可シタ——更ニ前内閣時代ニ許可セザリシモノヲ何故許可シタト云フコトデゴザイマス、サウスルコト前内閣時代ニハ許可シ得ベカラザル理由ガアツテ許可シナカッタ、吾々ハ調査研究ノ上ニ許可スルコトガ當然トシテ許可シタノデアル、前内閣時代ニ許可シナイモノヲ吾々モ許可シナイト云フコトニハ行キマセヌ、政策ニ於テ其通り、金解禁ノ問題ニ於テ其通り、總テノ問題ニ於テ、前内閣ノ解決セザル事ヲ解決スルノガ吾々ノ方針デアル、吾々ハ政友會内閣ガ、國家ノ爲ニ解決出來

ナイ所ノ總テヲ、國家本位トシテ解決セントシツ、自ラ努メテ居ルト云フコトヲ御諒承ヲ願ヒタイト思フノデゴザイマス、尙ホ許可シタ上ニ何カ暗イ事ガアルトハ何事デアル、是ハ恐ラクハ己ノ心ヲ以テ人ノ心ヲ忖度スルモノデナイカト思フ、支那カ何處カニ於テ、何カ許可スル時ニ金ヲ取ル辯ガアツタ國ガアツタサウデアリマス、日本ノ政黨ニハ左様ナ政黨ハナイト思ヒマス、或ル利權ヲ許可シタ、其許可シタ所ニ金ガ付クト云フ、サウ云フコトハ己ノ心ヲ以テ人ノ心ヲ忖度スル、極メテ陋劣ナル心事デアリマス(拍手) 我ハ政友會ト言ハズ、民政黨ト言ハズ、苟モ議員タル者ガ、何等ノ證據無シニ、只推測的ニ己ノ心ヲ以テ人ノ心ヲ忖度スルコトノ誤リデアルコトヲ申シテ置キマス(拍手)

●土倉宗明君(土倉宗明君登壇) 只今政府委員ノ御答辯ヲ伺フタノデアリマスガ、私ハ政府委員ノ方々ヨリ伺ハヌデ、モツト此問題ヲハッキリ御存ジノ御方ニ承リタイノデアリマス、何モ御存ジノナイ、何モ知ラナイ所ノ政務次官ニ之ヲ聽カウトハ私ハ思ハナイ(拍手) 齋藤政府委員ハ、只今斯ウ云フ御答辯ニナリマシタ、條件ニ對シテハ後デアルトカ、或ハ箱船ナド、云フ御説明ガアリマシタ、庄川ノ年出材額ハ二十万石ト號セラレテ居ル、此二十万石ヲ二ツノ堰堤、小牧ト祖山ノ二ツノ堰堤ヲ越シマスノニ、筏ニ組ミ、或ハ之ヲ解グシ、或ハ箱ニ乗セ、之ヲ又卸ス、此操作ノ手續ヲ假ニ爲シ得ルモノト致シマシタナラバ、果シテソレガ可能デアルカ、不可能デアルカト云フ點ニ付テ御存ジガアルマイト思フノデゴザイマス、何故カナラバ、二十万石ノ材木ハ、之ヲ本數ニ見積ラレバ、大約六十万本ニナル、此六十万本ニナル所ノ計數ヲ筏ニ組ミ箱ニ乗セル、堰堤ニ卸シ、又乗セルノニ一體ドレダケノ時間ガ掛ルカト云フコトヲ御存ジナイ、流材ノ期間ハ二月カ

ラ十月マデ、此僅カノ短期間ガ流送ノ期限ニ相成テ居リマス、此短時日ヲ以テシテ、ドウシテ六十万本ノモノヲ筏ニ組ンダリ、之ヲ箱船ニ乗セタリスル、此操作ガ時間的ニ見積レバドレダケニナルカ御分リニナルマイ、「機寸」ノ棒ヲ算ヘルニモ、六十万本カラノモノヲ算ヘルノハ容易ナコトデナイ、大體此案ヲ齋藤サンハ如何ニモ完全シタヤウナ御説明デアリマシタガ、是ハ齋藤サンノ完全シタト云フ御説ニハ第一ニ農林省ガ絕對ニ反對デアルノデアリマシテ、第一調印ヲシテ居ラスト云フコトヲ私ガ先程申上ゲタ、調印ヲシテ居ラナラバ、此所ニ其調印サレタモノヲ提出シテ戴キタイ、内務省ニ於テモ其通りデアリマス、潮次官以下事務官ガ之ニ同意ノ判ハ確カニ捺シテ居ナイト思フ、捺シテ居ラナラバ出シテ御覽ナサイ、ソレカラ演說解散ノ理由ニ對シテ御答ハ、解散スベキ筋合デアルカラ解散シタノダラウト云フヤウナ、實ニ驚入タル御答辯デアリマス(拍手) 電氣會社ト策謀シテ其理由ヲ作テ解散シタノデアルト云フコトヲ、私ハ言明致シテ居ル、更ニ醜惡ナル半面ハ微塵モナイト仰セニナリマシタケレドモ、總テハ斯ノ如キ堂々タル、而モ卑劣ナル、惡辣ナル、奸惡ナル事實トナツテ總テ世上ニ現ハレルノデアリマス、其時期ハ遠カラザル將來ニソレガ事實トナツテ現ハレル事ヲ私ハ言明シテ置キマス、中野君ノ御答辯ノ中ニソレハ嘘ダ、堰堤ノ寫眞ダト仰セニナツタガ、堰堤ノ寫眞デアアルカナイカ、之ヲ諸君ニ提供スル、御覽ナサイ、之ヲ事實ト稱シテ居ルノデアリマス、堰堤ノ寫眞デアリナイト云フガ「チエンス、コンビヤ」ノ工事ヲ明カニヤツテ居ルコトハ、四月二十五日以前ニ既ニ完成シテ居ルデハナイカ(拍手) サウシテ反對シテ居ルモノハ飛州木材會社ダケダト仰セニナリマシタガ、飛州木材會社ダケデアアルカナイカハ私ノ知ル所デハナイカ、現ニ私モ御質問ヲ申上ゲテ居レバ、民政黨ノ山田毅一君

モ是ニハ反對シテ居ラル、ノデアリマス、ソレカラ更ニ此民事ノ訴訟ニ三十万圓ノ資金ガ、是ハ神戸ノ乾新兵衛君ガ出シタノデアルト云フヤウナコトヲ言ハレテ、如何ニモ何カ故ニ臭イ問題デモアルトカ、如何ハシイ問題ガアルト、斯ウ云フ風ニ言ハレテ居ルノデアアルガ、訴訟ノ保證金トシテ出サレタモノガ何人カラ出テ居ラウトモ、ソレナコトハ御構ヒハナイデハナイカ、ソレヨリハ寧ロサウ云フ莫大ナ三十万圓ノ巨額ノ金ヲ積立テ、爭ハナケレバナラナイ、此原始産業ニ從事シテ居リマス——此生業ヲ奪ハレントシテ居ル所ノ富山縣一部ノ住民ニ對スル所ノ同情ノ觀念ハ、諸君方ニハナイノデアルカ、更ニ高田君ニ至リマシテハ甚シキ暴言ヲ述ベラレタノデアリマス、前内閣ガ許可シナイノデアアル、ソレヲ現内閣ガ慎重審議ヲ遂ゲテ許可シタノデアアル、不正ガアレバ前内閣ダト言ハレル、許可セザルモノニ不正ガ發生スル理由ガゴザイマセヌ(拍手) 從來電氣會社ガ今日マデ電氣事業ノ勃興ニ伴ウテ、殊ニ我ガ上下ノ政權ニ對シテハ、黃金ノ力ヲ以テ今日マデ誘惑シタ事實ガ澤山アルノデアリマス(拍手) 即チ許可ヲスルト云フ權限ニ對シテ、是等ノ不正ナルコトガ行使サレテ居ラト云フコトハ事實デアツテ、未ダ曾テ許可ヲ爲サマリシモノニ對シテ、左様ナル醜惡ナルコトヲ私ハ聞イタコトガナイノデアアル(發言スル者多シ) 御穿達ニナツテハ困リマス、諸君、而モ歷代ノ農林大臣ハ悉ク反對デアツタト云フコトハ、是レ天下周知ノ事實デアツテ、現ニ四月二十五日、發令ニナツタノハ四月二十五日デアリマス、農林省及内務省、遞信省、殊ニ是等三大臣ダケ寄テ決定ヲ與ヘラレタノガ十九日デゴザイマス、二十三

日ノ大阪朝日新聞ニハ「農林省內ニ反對ノ聲アリ松村次官私見ヲ發表ス」トシテ、即チ暗ニ不同意デアツタト云フコトヲ堂々ト書イテ居ルデハナイカ(拍手) 單リ是ハ大阪朝日新聞

モ是ニハ反對シテ居ラル、ノデアリマス、ソレカラ更ニ此民事ノ訴訟ニ三十万圓ノ資金ガ、是ハ神戸ノ乾新兵衛君ガ出シタノデアルト云フヤウナコトヲ言ハレテ、如何ニモ何カ故ニ臭イ問題デモアルトカ、如何ハシイ問題ガアルト、斯ウ云フ風ニ言ハレテ居ルノデアアルガ、訴訟ノ保證金トシテ出サレタモノガ何人カラ出テ居ラウトモ、ソレナコトハ御構ヒハナイデハナイカ、ソレヨリハ寧ロサウ云フ莫大ナ三十万圓ノ巨額ノ金ヲ積立テ、爭ハナケレバナラナイ、此原始産業ニ從事シテ居リマス——此生業ヲ奪ハレントシテ居ル所ノ富山縣一部ノ住民ニ對スル所ノ同情ノ觀念ハ、諸君方ニハナイノデアルカ、更ニ高田君ニ至リマシテハ甚シキ暴言ヲ述ベラレタノデアリマス、前内閣ガ許可シナイノデアアル、ソレヲ現内閣ガ慎重審議ヲ遂ゲテ許可シタノデアアル、不正ガアレバ前内閣ダト言ハレル、許可セザルモノニ不正ガ發生スル理由ガゴザイマセヌ(拍手) 從來電氣會社ガ今日マデ電氣事業ノ勃興ニ伴ウテ、殊ニ我ガ上下ノ政權ニ對シテハ、黃金ノ力ヲ以テ今日マデ誘惑シタ事實ガ澤山アルノデアリマス(拍手) 即チ許可ヲスルト云フ權限ニ對シテ、是等ノ不正ナルコトガ行使サレテ居ラト云フコトハ事實デアツテ、未ダ曾テ許可ヲ爲サマリシモノニ對シテ、左様ナル醜惡ナルコトヲ私ハ聞イタコトガナイノデアアル(發言スル者多シ) 御穿達ニナツテハ困リマス、諸君、而モ歷代ノ農林大臣ハ悉ク反對デアツタト云フコトハ、是レ天下周知ノ事實デアツテ、現ニ四月二十五日、發令ニナツタノハ四月二十五日デアリマス、農林省及内務省、遞信省、殊ニ是等三大臣ダケ寄テ決定ヲ與ヘラレタノガ十九日デゴザイマス、二十三

ダケニハ限リマセヌ、我ガ帝都ノ有力ナル新聞ガ悉ク此事實ヲ列記致シテ居ルデハナイカ、内務事務次官ニ於テモ矢張其通り、是等ノモノヲアナタ方ガ取消ヲ爲サレタコト、モアリマセヌ、又私ノ言フコトガ果シテ嘘デアルト言フナラバ、アナタ方ノ確實ナル證據ヲ此前ニ出シテ戴キタイノデアリマス、斯ノ如キ即チ曖昧ナル御答辯ヲ私ハ要求シテ居ルデアリマセヌ、即チ本件ハ流レルカ流レナイカ、灌溉其他ニ障礙ヲ及サルカ及スカ、又漁業其他ニ就テ障礙ガアルカナイカト云フ、其有ルカ無イカト云フ問題ニ究極ハ突詰マッテ居ルデアリカラ、有ルナラ有ルト云フハキリシタ案サヘ出シテ戴ケバ、天下公衆ノ前ニ出シテ、是ガ出来ルカ出来ナイカト云フ鑑定ハ容易ニ私ハ出来ルモノダト思フデアアル、ソレヲ爲サズシテ、其出来ルト云フ具體案ナルモノヲ極秘ニサレテ居ル所ニ、手品ノ傀儡ガアルト私ハ思フデアリマス、諸君、此手品ノ種ヲ見セレバ始めテ吾々ガ此問題ニ付テ安心ヲスルコトガ出来ルデアリマス、唯、今迄ノ政務官ノ述べラレタコトハ、餘リ信用スルニ足リマセヌカラ、ドウカ此問題ニ多年經驗ノアラレル技術者ノ人ニ私ハ答辯ヲ求メタイト思フデアリマス

〔政府委員高田松平君登壇〕

●政府委員(高田松平君) 極メテ簡單ニ御答申上ゲマス、第一ノ土倉君ノ御問ノ調印トカ何トカ云フノハ――調印ト云フノハ何ヲ言フデアアルカ(土倉宗明君「許可スル時ニ調印スルデアルマセヌカ」ト呼フ)多分サウ云フコトダト思ヒマスガ、アレハ農林省ハ調印シナイヤウニナッテ居リマス、アナタ方ハ何モ形式ヲ知ラヌケレドモ、サウデヤナイ、電氣ノ問題ニ付テ地方長官ガ許可權ヲ持ッテ居、内務大臣ト逕信大臣ニ稟伺ヲシテ總テノ許可ノ命令ヲ出スノガ今日ノ形式デアアル、農林大臣ハ現在ノ形式デハソレニ調印スベキモノデハナイ、ソレヲ君ハ

知ラヌカラソナ詰ラヌコトヲ質問スルノデアアル(拍手笑聲)

第二ハ流材ノ問題デゴザイマスルガ、流材ノ問題ニ付キマシテハ前内閣時代ニ立案シタモノニ變更ヲ加ヘテ、極メテ鞏固ナル川倉ヲ造リテ、而シテ流送設備ヲ完全ニスルノデゴザイマス、但シ此處ニ申上ゲテ置カナケレバナラヌ事柄ハ、其設備費モ其區間ニ於ケル流送賃、即チ川倉ノ所在地ヨリ小牧ノ堰堤ニ至ル間ノ此流送ノ賃銀ハ、總テ會社ガ負擔スルノデゴザイマス、若シ材木ノ流出損耗等ガアツタ場合ニ於キマシテモ、是モ會社ガ全部負擔スルコトニ相成ッテ居ルノデゴザイマスカラシテ、何等流材業者ニ對シテ危害ヲ加ヘナイト吾々ハ信ジタ次第デアリマス(拍手)併ナガラ若シ萬一流送ヲ完全ニスルコトガ出来ナカッタコトガ判明シタ以上ニハ、是ニ於テ森林鐵道ヲ會社ノ費用ヲ以テ敷設セシムルノ命令ヲ出スコトニ相成ッテ居ルノデゴザイマス(「ドウ云フ法律ノ權限デ此命令ヲ出シマスカ」ト呼フ者アリ)ソコデ私ハ此流送ノ問題ヨリモ、灌溉用水ノ問題ガ極メテ重大ナル問題トシテ研究シテ居ルノニ、質問者ヨリ灌溉ノ問題ニ付テ何等少シモ御質問ノナイコトヲ、甚ダ遺憾ニ考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス(拍手)更ニ三大臣協議云々ハ何等根據ガアリマセヌ、三大臣ガ集テ協議シタコトハアリマセヌ、又吾々ノ方ノ事務次官モ山林局長モ、元ノ政友會ノ案デハ不同意デアッタカ知ラヌガ、今度ノ案ニハ全然同意致シマシタ、而シテ若シ事務官ガ不同意デアラカラ、政府ガ何モ決定出来ナイトスレバ、是ハ事務官政治ニ相成ルノデゴザイマシテ、政黨内閣ハ斯様ナコトハ全然認めマセヌ(「ヒヤ」ト拍手)

●岡本實太郎君 國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ハ此程度ニ於テ終局セラレンコトヲ望ミマス

〔「贊成」贊成「ト呼フ者アリ」

●議長(藤澤淺之輔君) 岡本君ノ勸議ニ御異議アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

●議長(藤澤淺之輔君) 御異議ナシト認メマス、仍テ國務大臣ノ演說ニ對スル質疑ハ終局スルニ決シマシタ、最早本日ハ定刻モ過ギマシタカラ、本日ハ是ニテ延會致シマス――次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス、本日ハ是ニテ散會致シマス
午後七時四十三分散會

